

「石巻市南浜地区の未来を考える会」活動主旨

2014年11月29日 石巻市南浜地区の未来をみんなで考えるワークショップ第2回

資料-4



2014年10月18日に開催された「石巻市南浜地区の未来をみんなで考える市民ワークショップ第1回」の様子

東日本大震災から3年9ヶ月が過ぎようとしています。東日本大震災によって大きく被災した南浜地区（南浜町・門脇町・雲雀野町）は、非住居地域に指定され、今月の11月1日には政府が、南浜地区に「追悼」と「祈念」を目的とする（仮称）復興祈念公園を設置する事を閣議決定しました。

南浜町・門脇町・雲雀野町には、日和山や北上川や太平洋の自然環境がもたらす恵みがあり、豊かな生態系を感じる事ができる貴重な場所です。これからその南浜地区の風景が大きく変わろうとしている今、立場の分け隔てなく、南浜・門脇・雲雀野の未来を考え、話し合っていく機会を設けるために、石巻市民と専門家の有志で「石巻市南浜地区の未来を考える会」を結成しました。

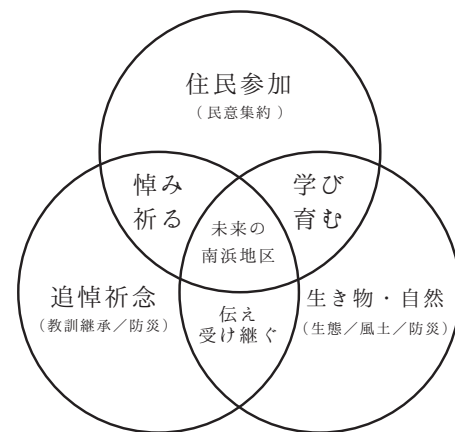
当会は、今後数年計画の様々な企画（祈りを学ぶ／生き物や自然を学ぶ／市民参加のあり方を学ぶ）を通して、南浜地区の情報や英知を収集し、南浜地区の未来を考察、そして最終的にはそれを市民有志の提案として一つにまとめていきます。

2014年後期の活動としては、2015年3月の【宮城県における復興祈念公園基本計画】策定までに、合計3回（予定）のワークショップを開催し、今後の活動の足がかりを築いていきます。

一連のワークショップで議論された内容や出された意見は、その後公式的な場で国・県・市・コンサルJVに伝えるので、どんなに小さな意見でも出来る限り拾い、一つの意見として認め、全て大切に扱います。

それらは当会内で総合的に整理・分析し、まとめ、調整を経て、最終的に作成を想定している今年度の提案書ないしは報告書に組み込む予定です。事前に遺族・住民・市民の皆様に見ていただく機会も想定しています。

この機会と一緒に南浜地区の未来を考えてみませんか？ 私たちの意見をまとめて、想いを国へ届けましょう！



〈当会による市民ワークショップシリーズの予定〉

10月18日／第1回市民ワークショップ（導入回）

題目：みんなで南浜地区の未来を話し合おう

場所：門脇小学校（体育館）

- ・座学で南浜地区の歴史や風土を学ぼう
- ・フィールドワークで南浜地区の現状を知ろう
- ・グループワークで南浜地区への想いを伝えよう

11月29日／第2回市民ワークショップ（発展回）

題目：みんなで南浜地区の未来のイメージを共有しよう

場所：門脇中学校（教室）

〈今回初めて参加される方（初参加）〉

- ・座学で南浜地区の歴史や風土を学ぼう
- ・フィールドワークで南浜地区の現状を知ろう
- ・グループワークで南浜地区への想いを伝えよう

〈第1回に引き続き参加される方（2回目）〉

- ・第1回で議論された内容と分析結果を共有しよう
- ・それをもとに言葉や写真で未来のイメージを描いてみよう

1月～2月／第3回市民ワークショップ（今年度総括回）

題目：みんなで南浜地区の物語を考えよう

場所：未定

- ・これまで議論された内容と分析結果を共有しよう
- ・それをもとに南浜地区での物語を考えてみよう

（仮称）復興祈念公園が完成する2020年末までに継続して「市民ワークショップ」を開催予定。企画詳細は市民ワークショップ各回の中で、参加者、各世代と共に議論し、決定していきます。

当会の持続的な活動による意見集約

〈東北地方整備局による基本計画有識者検討委員会の予定〉

提案・報告

【11月中旬：第3回検討部会（空間デザイン／植栽計画）】

提案・報告

【12月末：第2回有識者検討委員会】

【1～2月：第4回検討部会（空間デザイン／植栽計画）】

提案・報告

【3月：市民フォーラム開催】

【3月：第3回有識者検討委員会】

【4月：パブリックコメント（策定案Web公開、意見募集）】

今年度の〈基本計画案〉策定と来年度度以降の〈基本設計〉〈実施設計〉に向けた動き

当会の提案・報告内容にも耳を傾けていただく

石巻市南浜地区の未来を みんなで考えるワークショップ開催

第1回市民ワークショップ（導入回）

題目：「みんなで南浜地区の未来を話し合おう」

日時：10月18日（土）9:00～15:30 ※小雨決行

会場：門脇小学校体育館

対象：南浜地区に関心がある方（小中高生大歓迎!!）

主催：石巻市南浜地区の未来を考える会（市民で結成された有志グループ）

後援：石巻市、石巻市教育委員会

協力：国土交通省東北地方整備局

参加無料

*企画主旨

東日本大震災から3年7ヶ月が過ぎようとしています。大震災によって大きく被災した南浜地区（南浜町・門脇町・雲雀野町）は、非住居地域に指定され、国の復興事業で（仮称）復興祈念公園の計画が進められています。

南浜町・門脇町・雲雀野町には、日和山や北上川や太平洋の自然環境がもたらす恵みがあり、豊かな生態系を感じる事ができる貴重な場所です。これからその南浜地区の風景が大きく変わろうとしている今、市民有志で南浜・門脇・雲雀野の未来を考え、話し合っていく機会を設け、今後数年計画の様々な企画（祈りを学ぶ/生き物や自然を学ぶ/市民参加のあり方を学ぶ）を通して、南浜地区の情報や英知を収集し、南浜地区の未来を考察、そして最終的にはそれを市民有志の提案として一つにまとめていきます。

2014年後期の活動としては、2015年3月の【宮城県における復興祈念公園基本計画】策定までに、合計3回（予定）のワークショップを開催し、今後の活動の足がかりを築いていきます。

この機会と一緒に南浜地区の未来を考えてみませんか？ 私たちの意見をまとめて、想いを国へ届けましょう！

*当日持参していただくもの

- ・フィールドワーク用の長袖・長ズボン・軍手
- ・記録用のデジタルカメラ（会場で印刷します）
- ・昼食（お弁当など）

*第1回市民ワークショップスケジュール

第1回題目：「みんなで南浜地区の未来を話し合おう」

- ・座学で南浜地区の歴史や風土を学ぶ
- ・フィールドワークで南浜地区の写真を撮ろう
- ・グループワークで南浜地区への想いを伝えよう

08:45～09:00 / 集合、受付、グループ分け

09:00～09:30 / 開会

09:30～10:15 / 座学（各10～15分）

座学テーマ01：復興事業と市民参画について

座学テーマ02：南浜地区の歴史について

座学テーマ03：まちづくりの事例について

10:15～12:00 / 南浜地区フィールドワーク（105分）

12:00～12:40 / 昼食

12:40～14:40 / グループワーク（120分）

14:40～15:30 / 各グループの成果発表

15:30 / 閉会

*参加応募方法

氏名、年齢、住所、職業を明記の上、事務局のメールアドレス宛、もしくは直接のお電話・ファックスにてご応募ください。

*問い合わせ・お申し込み先（事務局）

名称：東日本大震災圏域創生 NPO センター
（担当：太田・高橋）

住所：986-0873 宮城県石巻市山下町2丁目2-48 2F

電話（FAX）：0225-22-4804

メールアドレス：toso_npo@yahoo.co.jp

「石巻市南浜地区の未来を考える会」活動予定

〈当会による市民ワークショップシリーズの予定〉

10月18日 / 第1回市民ワークショップ（導入回）

題目：みんなで南浜地区の未来を話し合おう

場所：門脇小学校（体育館）

- ・座学で南浜地区の歴史や風土を学ぶ
- ・フィールドワークで南浜地区の現状を知ろう
- ・グループワークで南浜地区への想いを伝えよう

11月29日 / 第2回市民ワークショップ（発展回）

題目：みんなで南浜地区の未来のイメージを共有しよう

場所：門脇中学校（教室）

〈今回初めて参加される方（初参加）〉

- ・座学で南浜地区の歴史や風土を学ぶ
- ・フィールドワークで南浜地区の現状を知ろう
- ・グループワークで南浜地区への想いを伝えよう

〈第1回に引き続き参加される方（2回目）〉

- ・第1回で議論された内容と分析結果を共有しよう
- ・それをもとに言葉や写真で未来のイメージを描いてみよう

1月～2月 / 第3回市民ワークショップ（今年度総括回）

題目：みんなで南浜地区の物語を考えよう

場所：未定

- ・これまで議論された内容と分析結果を共有しよう
- ・それをもとに南浜地区での物語を考えてみよう

（仮称）復興祈念公園が完成する2020年末までに
継続して「市民ワークショップ」を開催予定。
企画詳細は市民ワークショップ各回の中で、
参加者、各世代と共に議論し、決定していきます。

当会の持続的な活動による意見集約

〈東北地方整備局による基本計画有識者検討委員会の予定〉

提案・報告

【11月中旬：第3回検討部会（空間デザイン/植栽計画）】

提案・報告

【12月末：第2回有識者検討委員会】

【1～2月：第4回検討部会（空間デザイン/植栽計画）】

提案・報告

【3月：市民フォーラム開催】

【3月：第3回有識者検討委員会】

【4月：パブリックコメント（策定案 Web 公開、意見募集）】

今年度の〈基本計画案〉策定と来年度以降の
〈基本設計〉〈実施設計〉に向けた動き

当会の提案・報告内容にも耳を傾けていただく

Aグループ

〈Aグループ分析結果（文責：阿部聡史）〉

Aグループは、大きく「自然」「心の拠り所」「思い出や利便性」という3つのテーマで議論されていた事が分かりました。（3次分析結果より）
その想いは、全グループ分析から導き出された「自然との共生」「津波の教訓と防災の伝統知を残す」「南浜地区での思い出を感じられるもの」「憩い楽しめる場所と娯楽イベントの開催」という4つのテーマにほぼ合致していることから、Aグループは現実的に南浜地区の課題を議論していたと言えます。

発表では、

- ・「これからも住み続ける人、あるいは戻ってくる人にとっては防潮堤は必要」という現実と、「子供の頃から見ている海の景色が懐かしい」という理想がある
 - ・住み続ける立場にとっては、どちらを取りたいかという、私は現実を取りたい、それが大きな前提
 - ・その上で、高齢者だけでは寂しいので、若い世代（子供たち）が南浜地区に来てくれて、交流できるような空間が欲しい
 - ・南浜地区だからこそ可能な、震災の教訓を継承していく機能も必要
 - ・そういった必要なものがバランスよく配置され、楽しさを感じられるような空間が欲しい
- というコメントがありました。

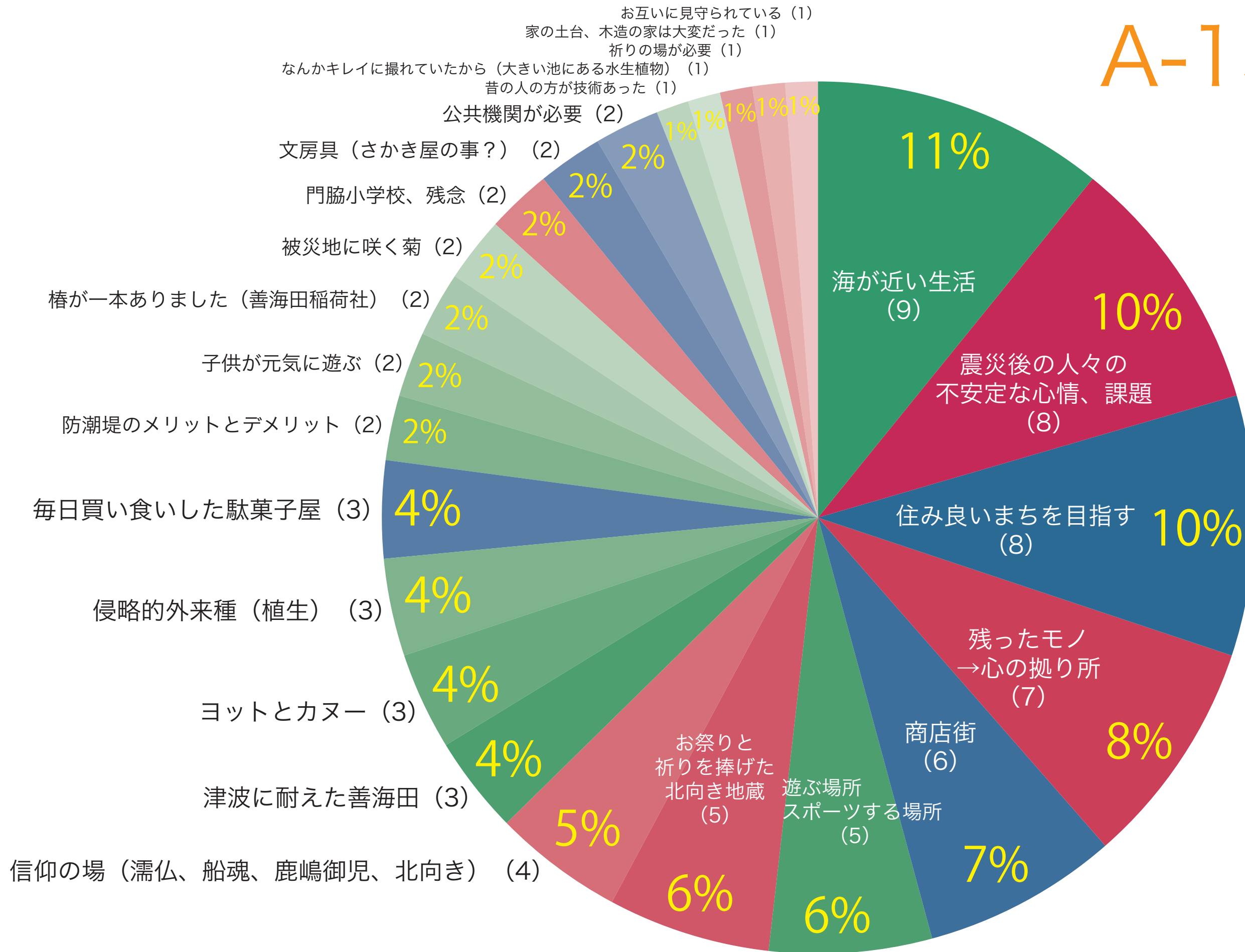
〈Aグループ制作物〉

あずま家／アスレチック／読書カフェ／野外音楽堂／公園／サッカーグラウンド／ドッグラン（できる空間）／灯台
／防潮堤ができて海が見えるように望遠鏡（夜になったら星も見たい）／滑り台／砂場／コイが見られる池

〈分析結果を受けての論評（文責：千葉一）〉

- ・自然の恵みを活かす活用とは？
- ・その際、自然の危険を常に心に留めつつ、どうそれを緩和するか？
- ・その防災意識の在り方の一つとして、心の拠り所や信仰・祈りの場が示す教訓を未来へ
- ・同時にそうした場所が、震災前の思い出と繋がり、楽しくリピートできる活用・場所とは？
- ・上記のことを踏まえた上で、「住みよい環境」とは何か？
- ・決して娯楽施設やコンビニやスーパーやホームセンターが軒を連ねるような「生活しやすさ」ではないかも知れない。
- ・植物や花が咲く、水辺で遊ぶ子供達...、そんな平和な生活空間のデザインとは？

A-1次分析

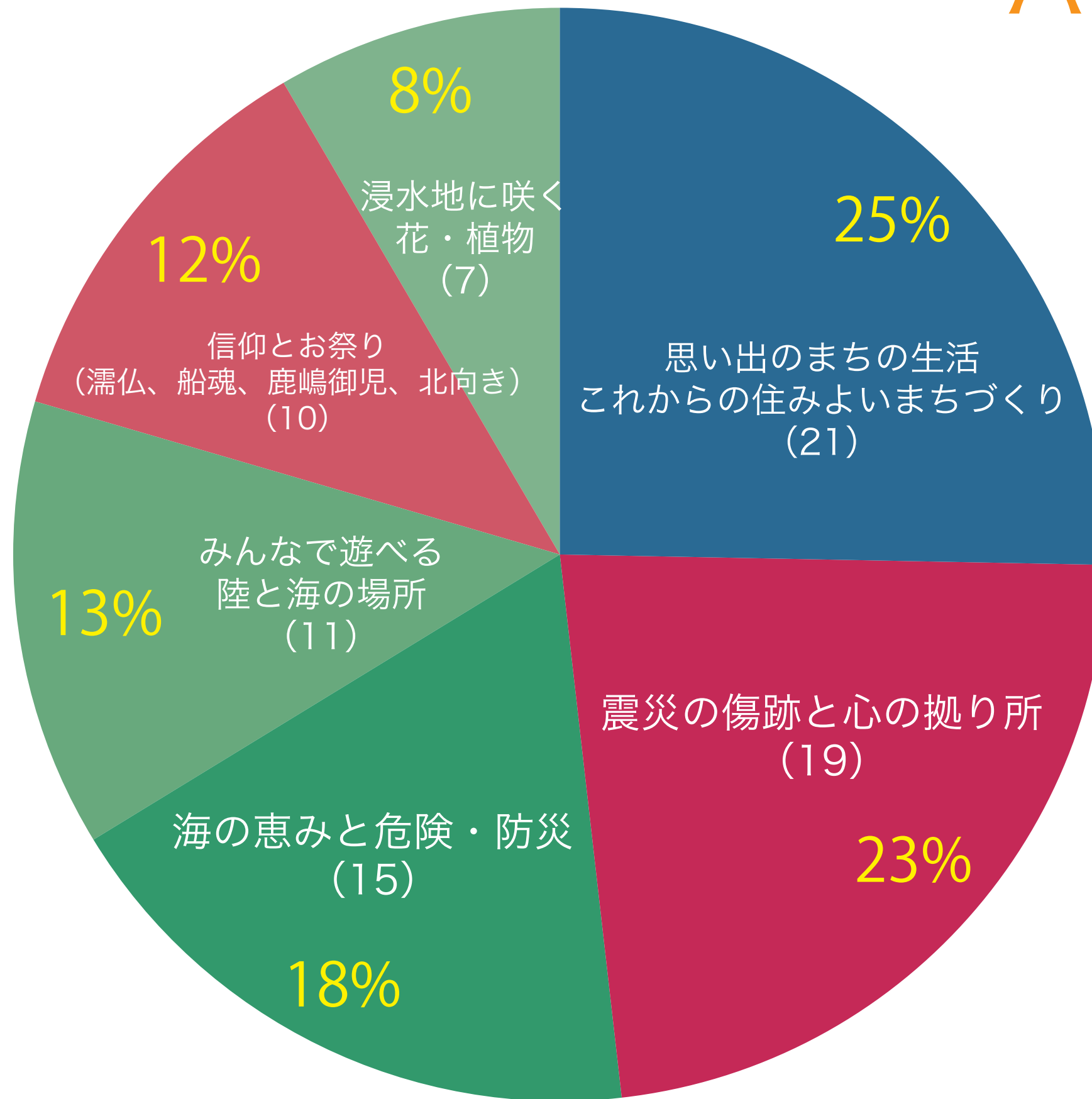


「石巻市南浜地区の未来をみんなで考える市民ワークショップ」第1回 | コメント分析結果 | Aグループ

石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29

2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014

A-2次分析

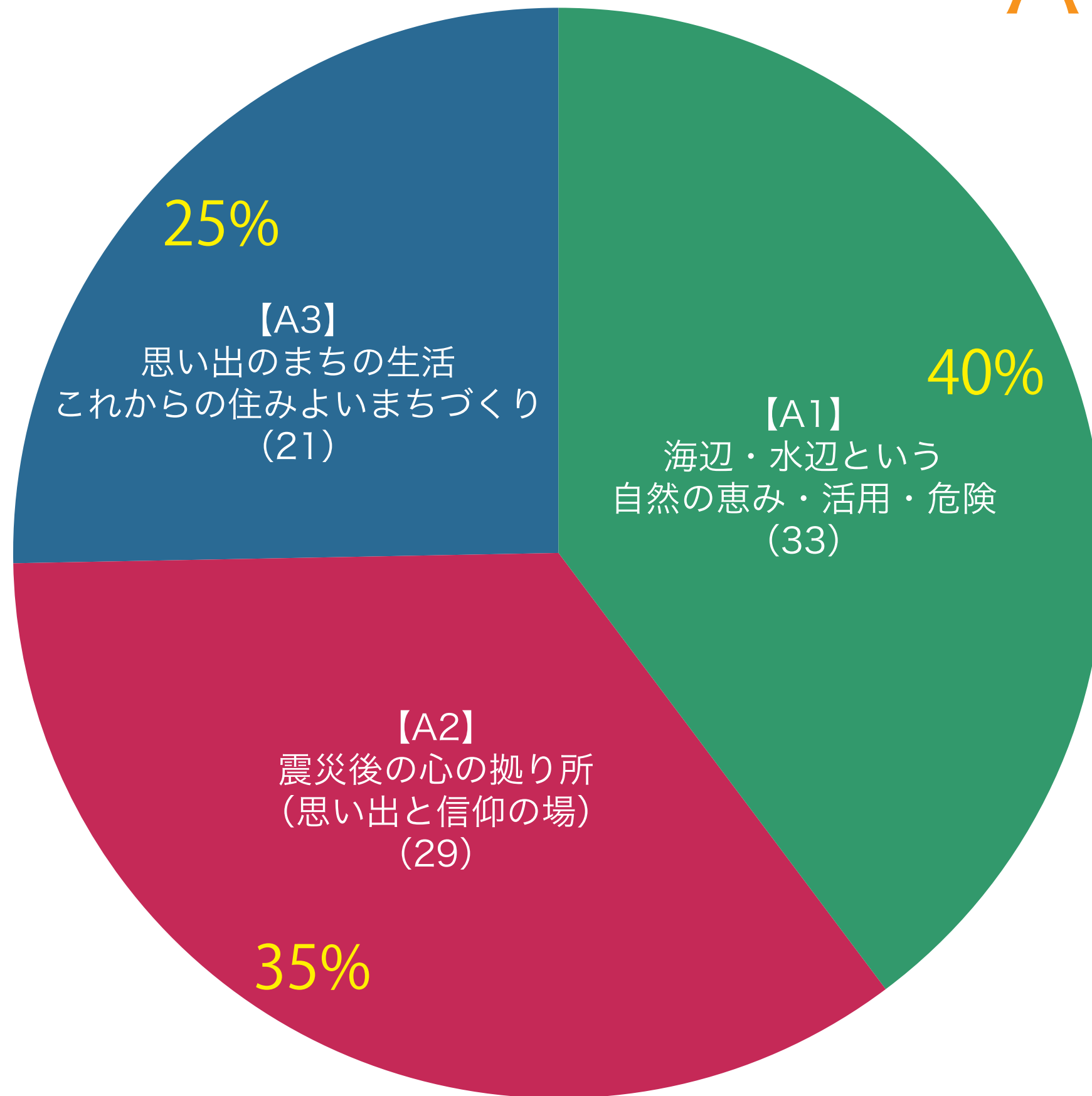


「石巻市南浜地区の未来をみんなで考える市民ワークショップ」第1回 | コメント分析結果 | Aグループ

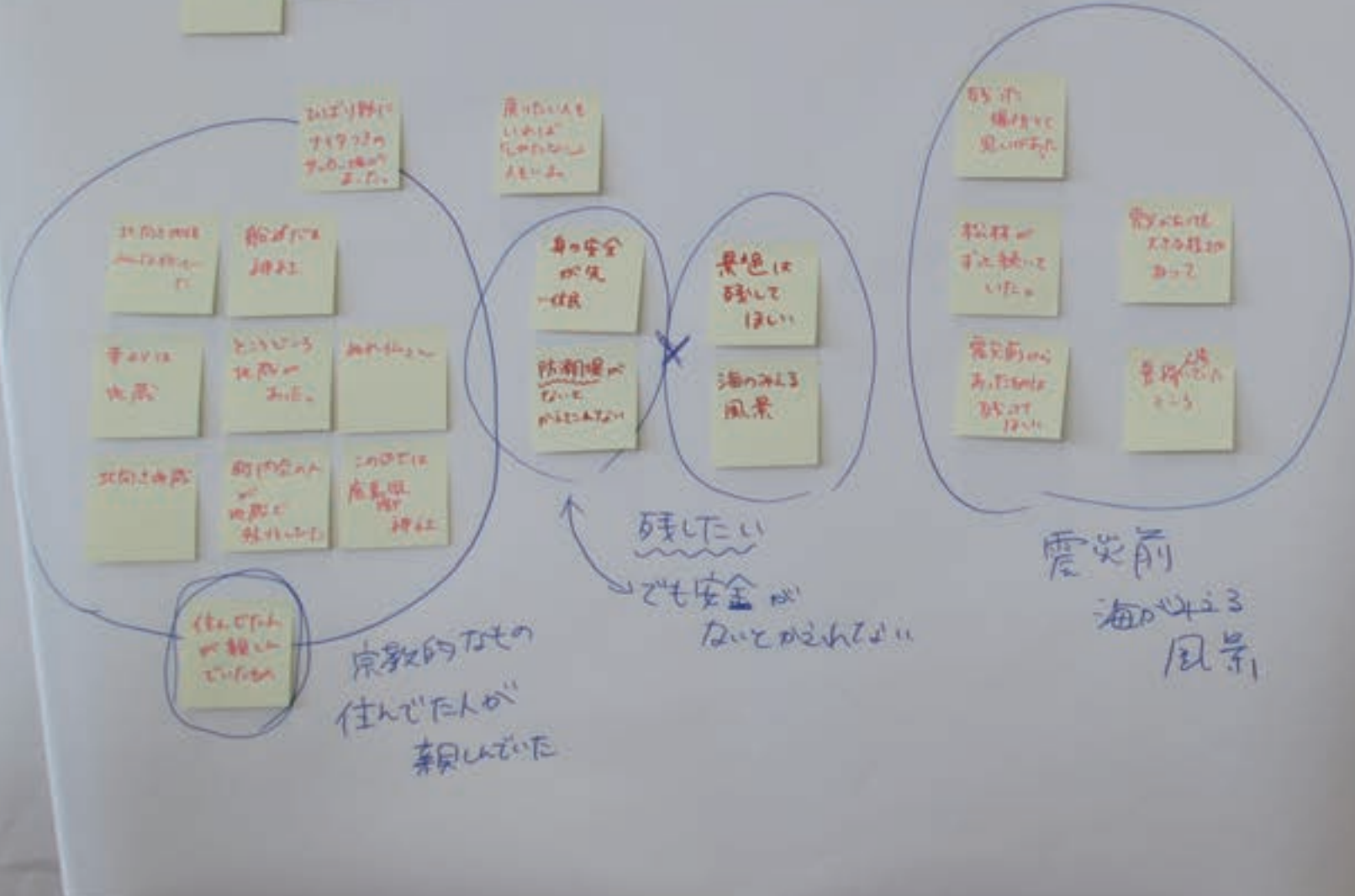
石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29

2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th,Nov,2014

A-3次分析



松林の
 様子
 松林の
 様子



遠くはいいが
 近頃は
 同僚の人は
 人間的に
 大事な
 明るい
 場所
 石巻の
 深層に
 いる



A グループワークシート



A グループ制作物

第1回市民ワークショップ | Aグループ制作物 | The Products of Groupwork A
 石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29
 2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014

B グループ

〈B グループ分析結果（文責：阿部聡史）〉

B グループは、人が交流する事や、集まって楽しむ場所や施設についての議論が多かった、という事が分かりました。（3次分析結果より）一方で、南浜地区にある歴史を感じられるものも欲しい、という意見も多くあり、人が集まる公園や施設を望む中に、先人のこの地に対する想いや教訓を引き続き継承していく術を議論していた模様です。

発表では、

- ・サッカー場、キャンプ場、時計台、近くに休憩ができる東屋やベンチ、そして今ある花壇が残るようにしたりしたい
 - ・南浜地区は歴史がある場所。建物が無くなってしまっても歴史は残る。だから歴史を残せるような「門脇・南浜記念館（歴史記念館）が欲しい
 - ・上に上がると海が眺められる展望台があって、それ自体がアート作品（作品名「海を見る人」）
 - ・松林があって、その中は散策やランニングとして利用できる遊歩道になっている
 - ・鎮魂の石碑がほしい。無くなった人の名前を刻みたい
 - ・芋煮会用のテントが欲しい
 - ・全体的に公園らしい提案にまとまった
- というコメントがありました。

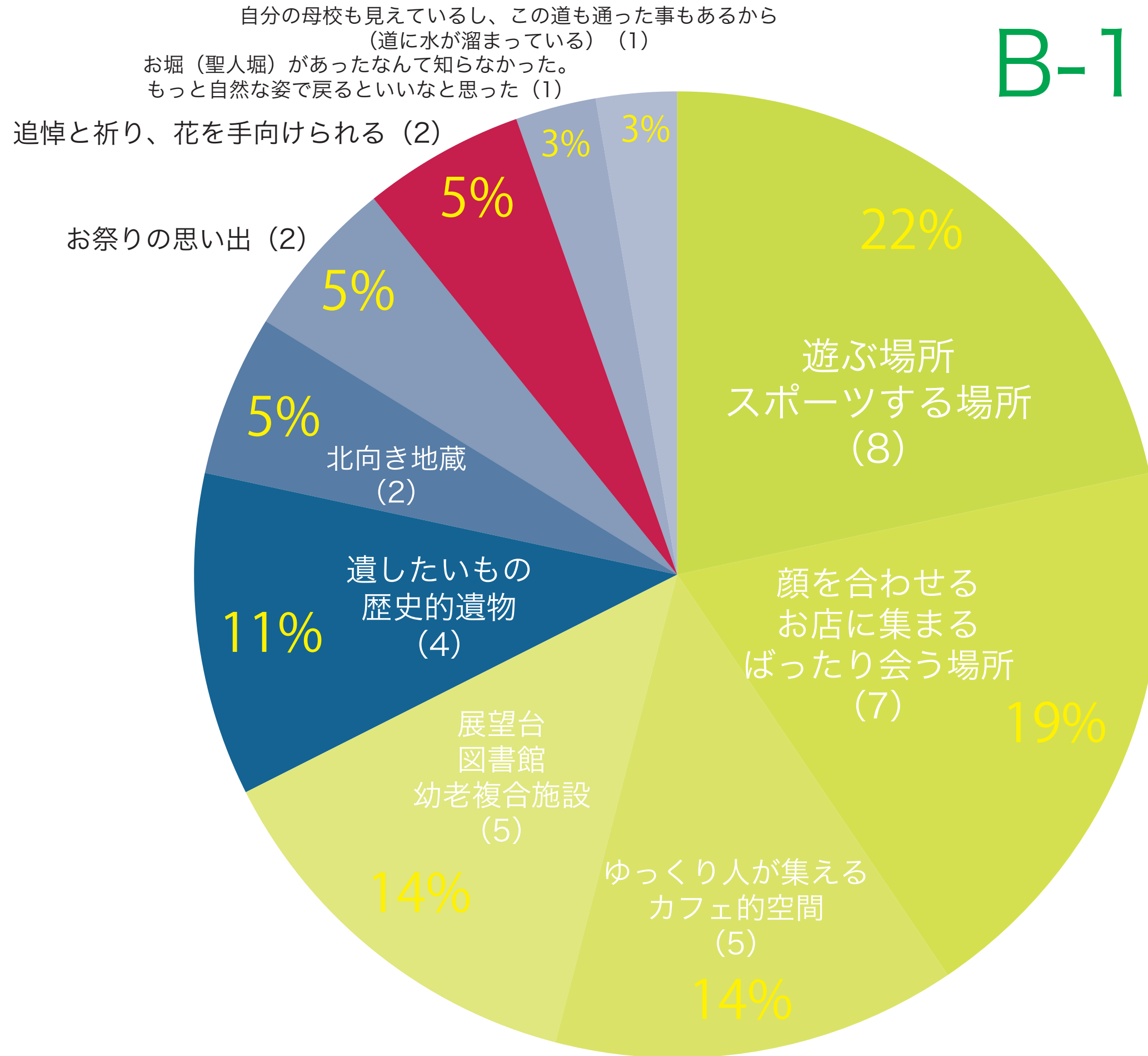
〈B グループ制作物〉

（今ある）花壇／サッカー場／時計台／休憩所／海岸キャンプ場／門脇・南浜記念館（歴史記念館）／芋煮用テント／LEDの街灯
／「海を見る人」（海を見る展望台のアート作品）／松林／鎮魂の石碑

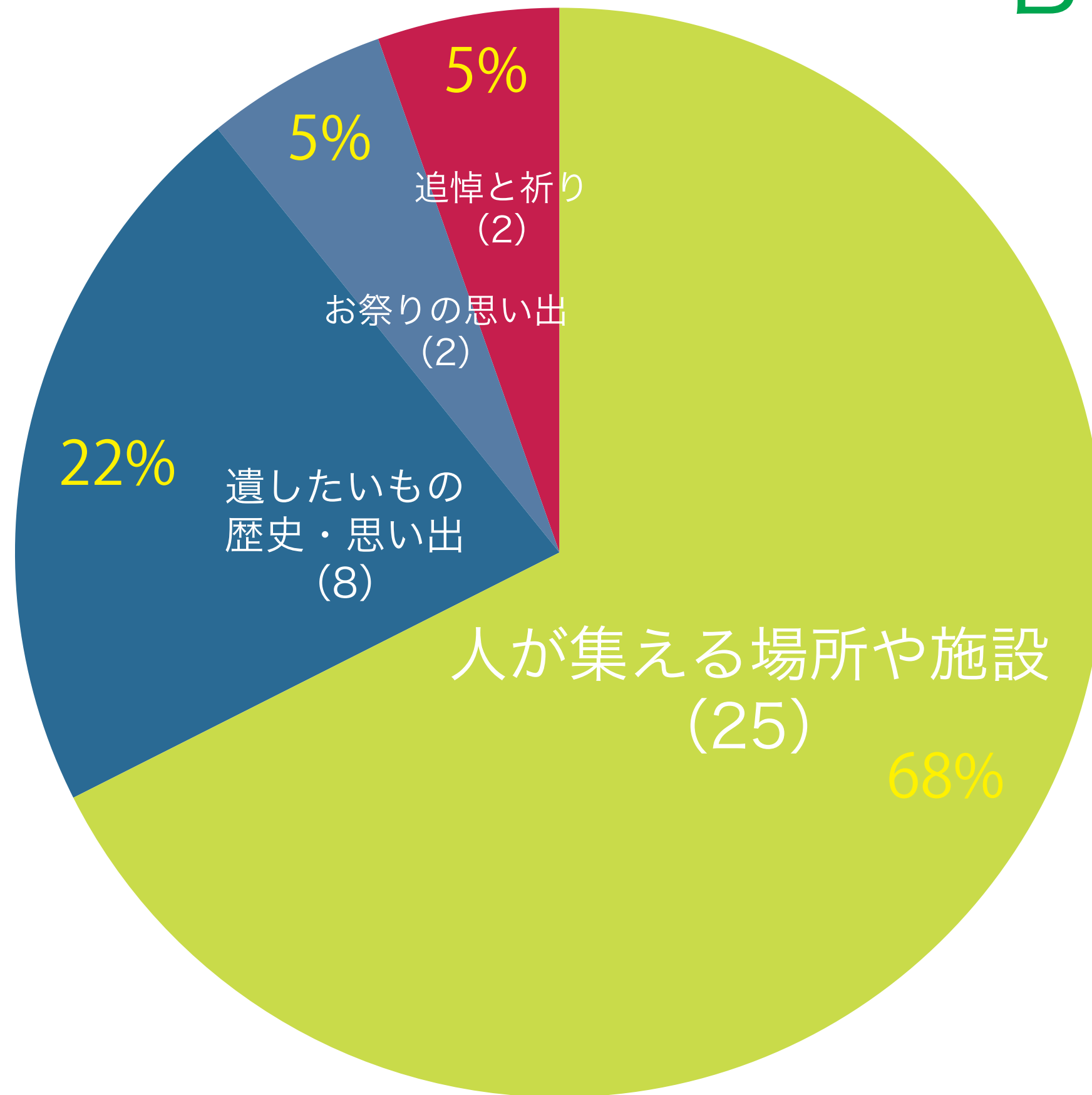
〈分析結果を受けての論評（文責：千葉一）〉

- ・人が集う賑やかな空間の創造。
- ・その際のインフラ整備の在り方をどう考えるべきなのか？
- ・これまで通りのコンクリートやアスファルトによるグレイインフラ重視か？それとも南浜地区の地形や自然を生かしたグリーンインフラか？
- ・「遊ぶ」「スポーツをする」という意味には、南浜地区の自然との共生を前提としたニュアンスもある
- ・人々が顔を合わせる社会関係資本・紐帯形成の場にしたいという意図はとても重要
- ・だから、ここで言う「集う」には、単なる他人の集合と言う意味を越えた工夫があるべき
- ・この「紐帯」を意識した時、人々と共有すべき思い出、祭り、祈りが持つ人間関係構築も見えてくる
- ・決して娯楽施設やコンビニやスーパーやホームセンターが軒を連ねるような「生活しやすさ」ではないかも知れない。
- ・植物や花が咲く、水辺で遊ぶ子供達...、そんな平和な生活空間のデザインとは？

B-1次分析



B-2次分析

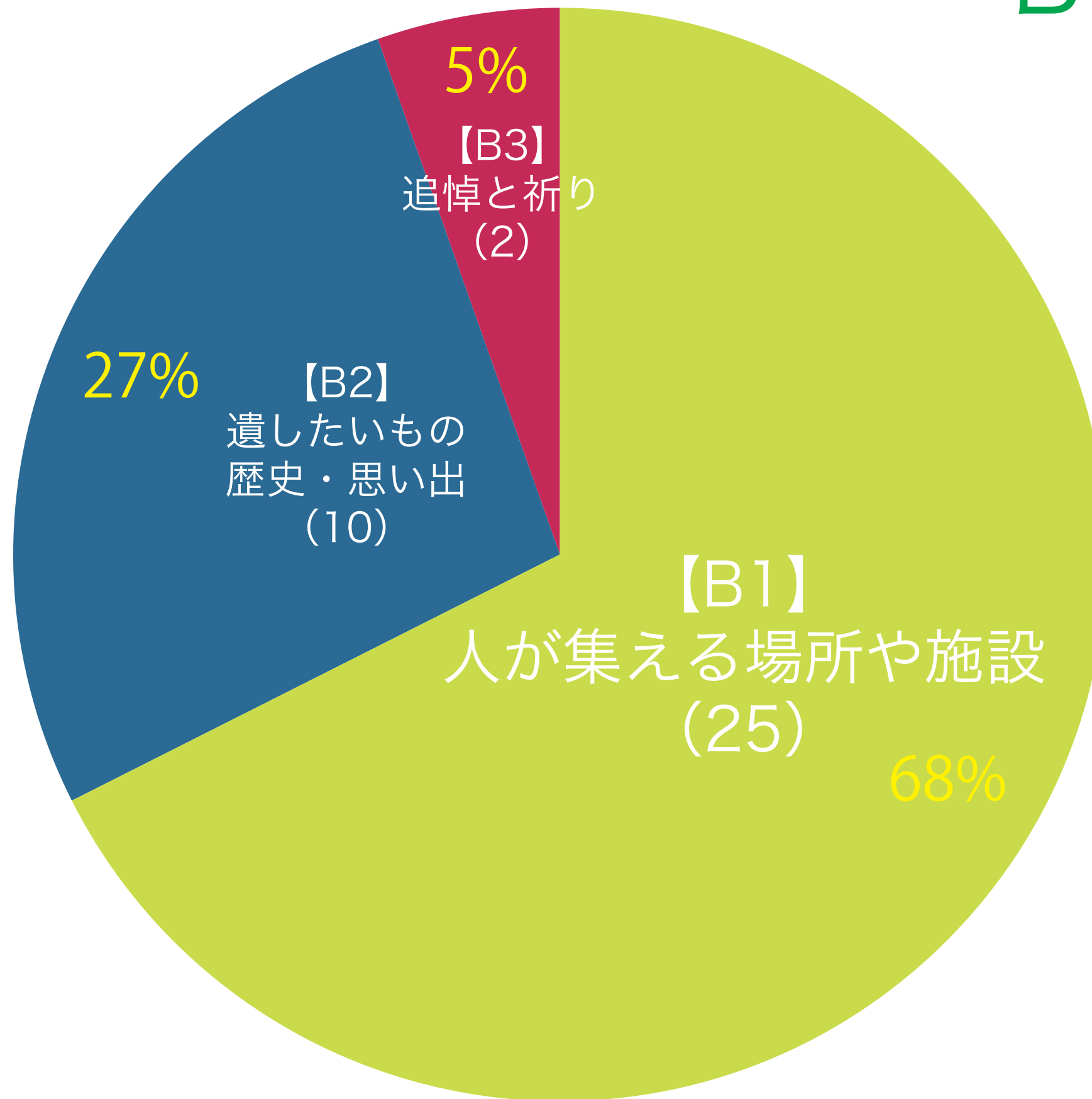


「石巻市南浜地区の未来をみんなで考える市民ワークショップ」第1回 | コメント分析結果 | Bグループ

石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29

2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014

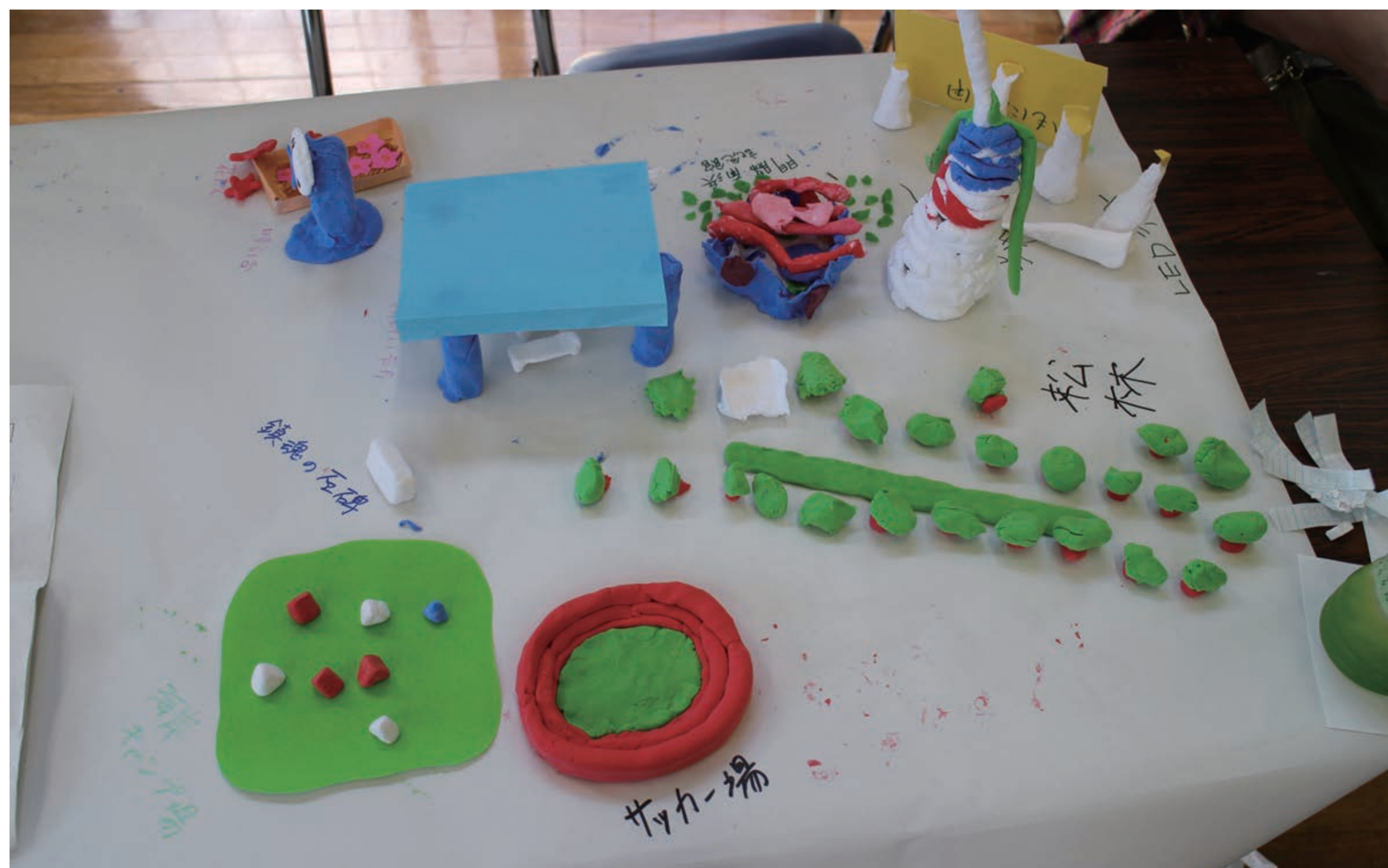
B-3次分析



「石巻市南浜地区の未来をみんなで考える市民ワークショップ」第1回 | コメント分析結果 | Bグループ

石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29

2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov 2014



B グループ制作物

第1回市民ワークショップ | Bグループ制作物 | The Products of Groupwork B
石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29
2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014

Cグループ

〈Cグループ分析結果（文責：阿部聡史）〉

Cグループは、南浜地区の自然を素直に受け入れて積極的に活用する中に、伝統文化や人の生活や自然との関係、さらには公園としての機能を見出そうという議論が多かった事が分かりました。（3次分析結果より）

南浜地区の未来を考えていくにあたって、自然で遊ぶだけでなく、人の生活を豊かにしていくために、伝統文化や自然からの学びを活用していこうという視点は、（コメント結果だけから見ると）他のグループにはあまり見られなかった視点だったと言えます。

発表では、

- ・南浜地区のキーポイントは水がある事
 - ・自然を基調として、いろいろ未来を考えたい
 - ・昔、水田がたくさんあったので、お米をつくってお餅をつくるなど、そういった食と人のつながり、食文化を大事にしていければいいと思う
 - ・震災後はじめて南浜地区の中まで行った。湿地がたくさんあったので、それを活かして運動できるようなもの（アスレチックなど）があったらいいなと思った
 - ・池に魚などの小動物もたくさんいたので、水辺をつなげて活用したい
- というコメントがありました。

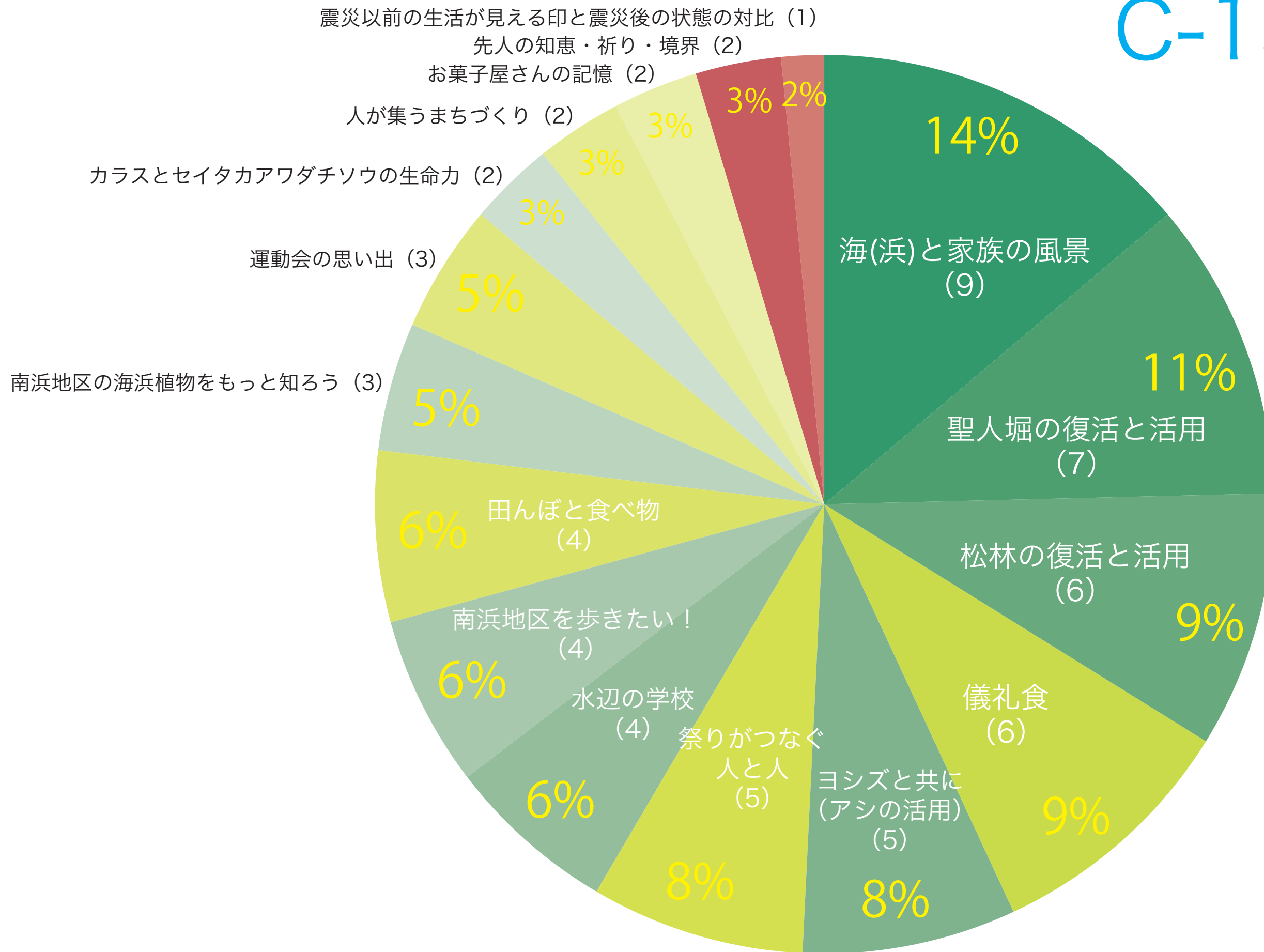
〈Cグループ制作物〉

（湿地をつなぐ）アスレチック／聖人堀での船着場／「きね」と「うす」（お米をつくる）

〈分析結果を受けての論評（文責：千葉一）〉

- ・水辺や海辺の自然に順応（負荷軽減）した生活の再認識、その実践の場として利活用
- ・それは、自然環境をベースとした伝統文化の再認識というトータルなコーディネート
- ・自然環境や伝統知の学習・教育の場としての位置づけ...水辺の学校
- ・そうした生態系順応型的生活文化の再認識が、これからの社会の在り方（ex.省エネ、低炭素、豪雨、エコ・コミュニティ、少子高齢化、自治体消滅・財政破綻...）にとって、どのような可能性を持っているのか？
- ・その重要性を具体的に意識し、説得し、提示する場とは？

C-1次分析

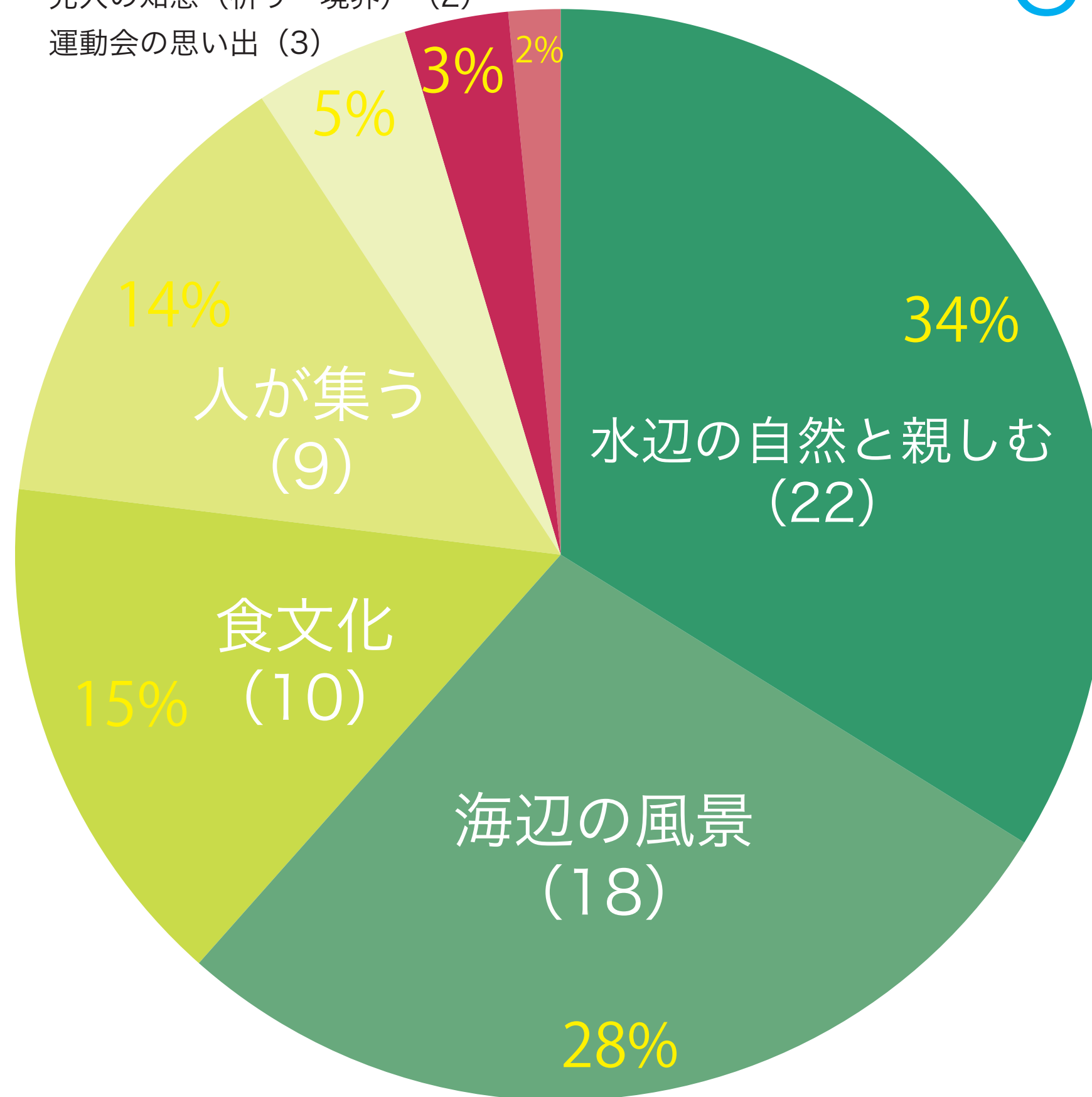


C-2次分析

震災以前の生活が見える印と震災後の状態の対比 (1)

先人の知恵 (祈り・境界) (2)

運動会の思い出 (3)

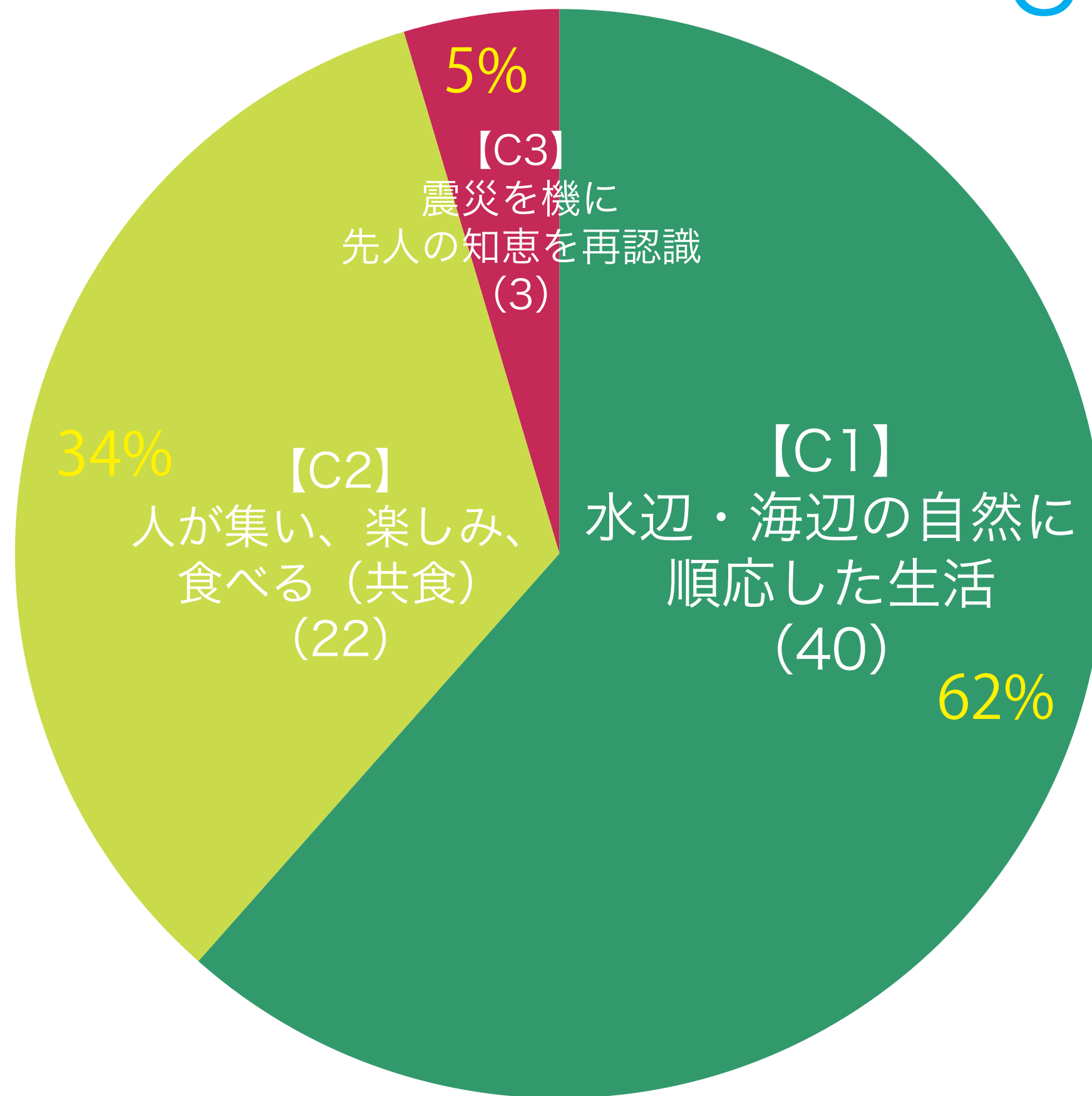


「石巻市南浜地区の未来をみんなで考える市民ワークショップ」第1回 | コメント分析結果 | Cグループ

石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29

2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014

C-3次分析





C グループワークシート

第1回市民ワークショップ | Cグループワークシート | The Sheet of Groupwork C
 石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29
 2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014



Cグループ制作物

第1回市民ワークショップ | Cグループ制作物 | The Products of Groupwork C
石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29
2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014

D グループ

〈D グループ分析結果（文責：阿部聡史）〉

Dグループは、他のグループと比べて、南浜地区で過ごした思い出に関する議論が多く、その中に被災した門脇小への想いや、震災後に再表出した自然の営みへの驚きなどが含まれていた事が分かりました。（3次分析結果より）
南浜地区の「未来」を構想していくにあたっては、愛着のある「過去」を十分に反映させた上で、「未来」を考えていきたいという視点がよく表れています。

発表では、

- ・震災前、門小の前に駄菓子屋があった。子供達が気軽に集える場所（小さい駄菓子屋のようなもの）をつくりたい
 - ・被災して、建物が無くなり、色がなくなってしまって雰囲気が暗い。なので、いろんな色で遊具を作って、できるだけ明るいまちにしたいと思って、いろんな色を使った公園をつくった
 - ・初めて来た人にも「南浜」という名前を覚えてもらって記憶に残してもらいたいのので、大きく「南浜」と書いた。大きくて高い虹色の滑り台が欲しい。
 - ・人が集まるような場所になるんだろうとは思いますが、元住民が戻って来てこの場所を想えるような、そして水鳥などがいる環境を活かすような場所が欲しい
 - ・（震災で）無くなったから思い出せた。日和山からの伏流水の恩恵を受けて南浜地区の人の営みがあった。州浜の地形が南浜地区の原点。それをどういう形で活かした「未来」を考えたい。
- というコメントがありました。

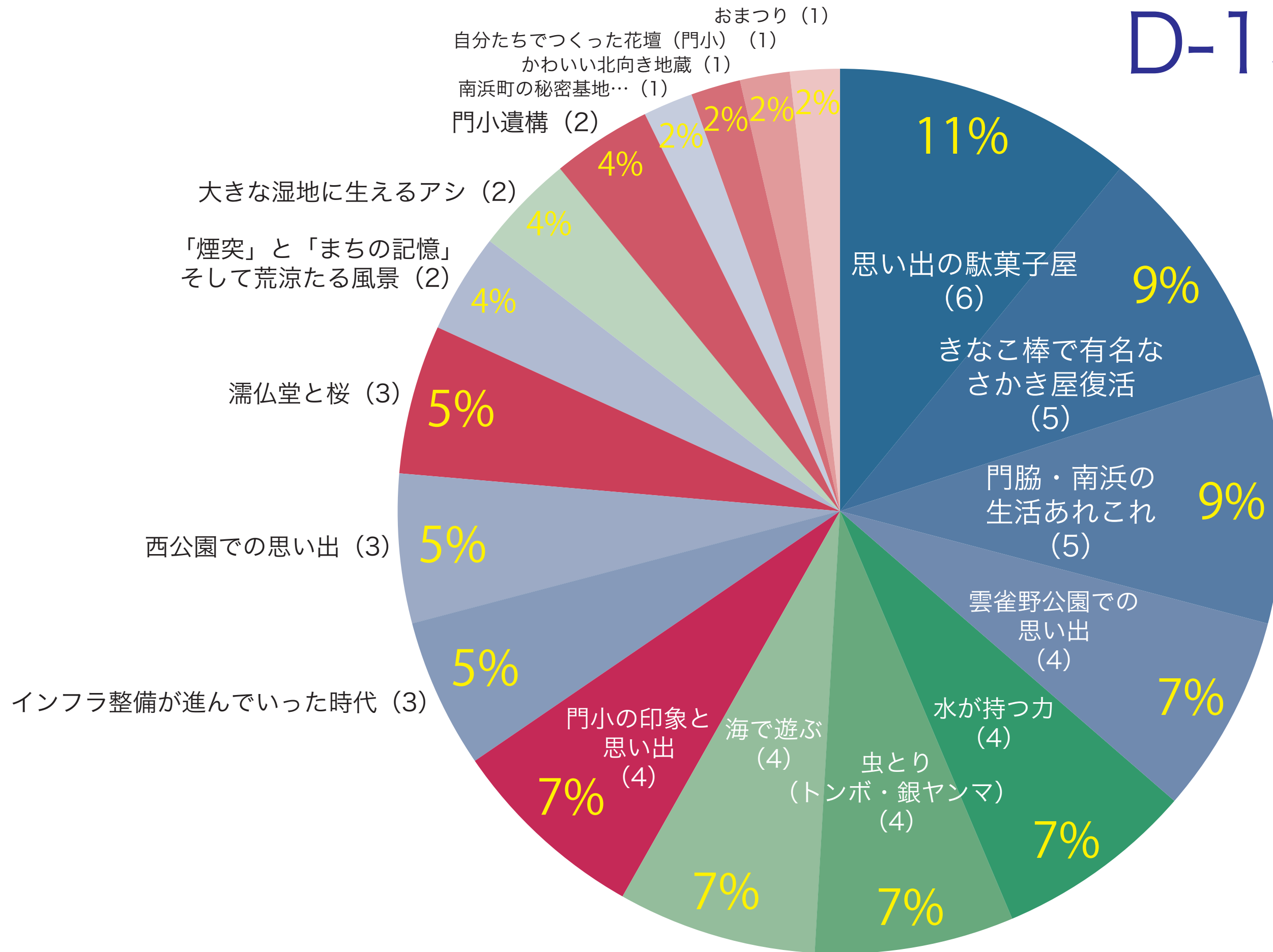
〈D グループ制作物〉

「想う場所に」（水鳥のいる池と座れるベンチ）／南浜カラフル公園／南浜ランド

〈分析結果を受けての論評（文責：千葉一）〉

- ・南浜の記憶を未来に照射するアプローチ。
- ・しかしそれは、以前の南浜をそのまま復元する事ではなく、新たな発想が求められる。
- ・南浜の人々の生活、その愛着、過去、その日常の記憶を反映させた空間作りとは？
- ・水辺や海辺で遊んだ自然との共生の記憶を、自然回帰しつつある南浜と言う空間に如何に反映させるべきか？
- ・津波被害や祭り、信仰や祈りの場が伝える非日常の記憶を、防災の教訓として未来に引き継いでいくには？
- ・トータルな形で、上の3要素をコーディネートする空間を考える。
- ・水辺を保持した自然であって、かつ南浜の思い出と震災記憶とその伝承が散りばめられた空間とは？

D-1次分析

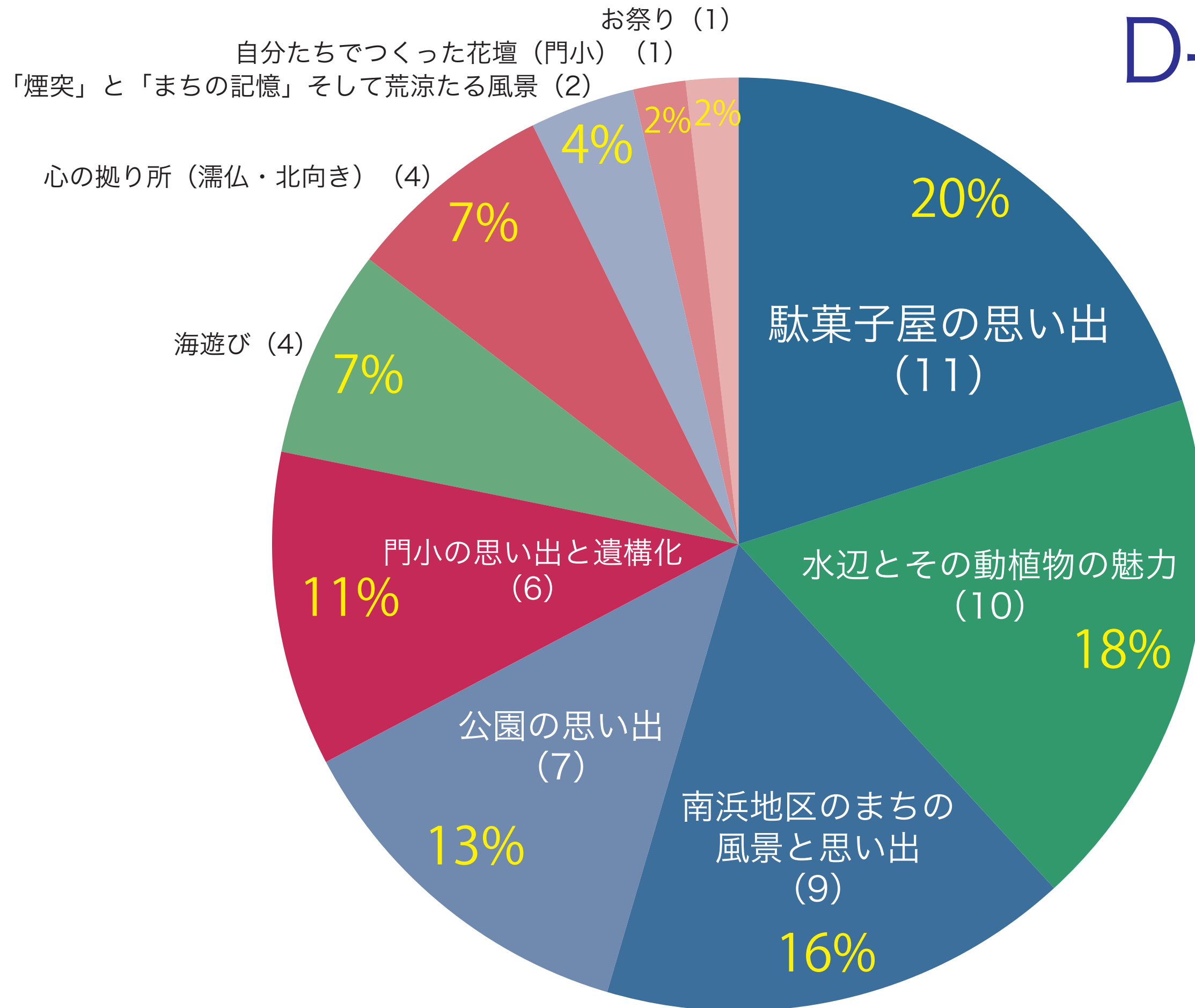


「石巻市南浜地区の未来をみんなで考える市民ワークショップ」第1回 | コメント分析結果 | Dグループ

石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29

2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014

D-2次分析

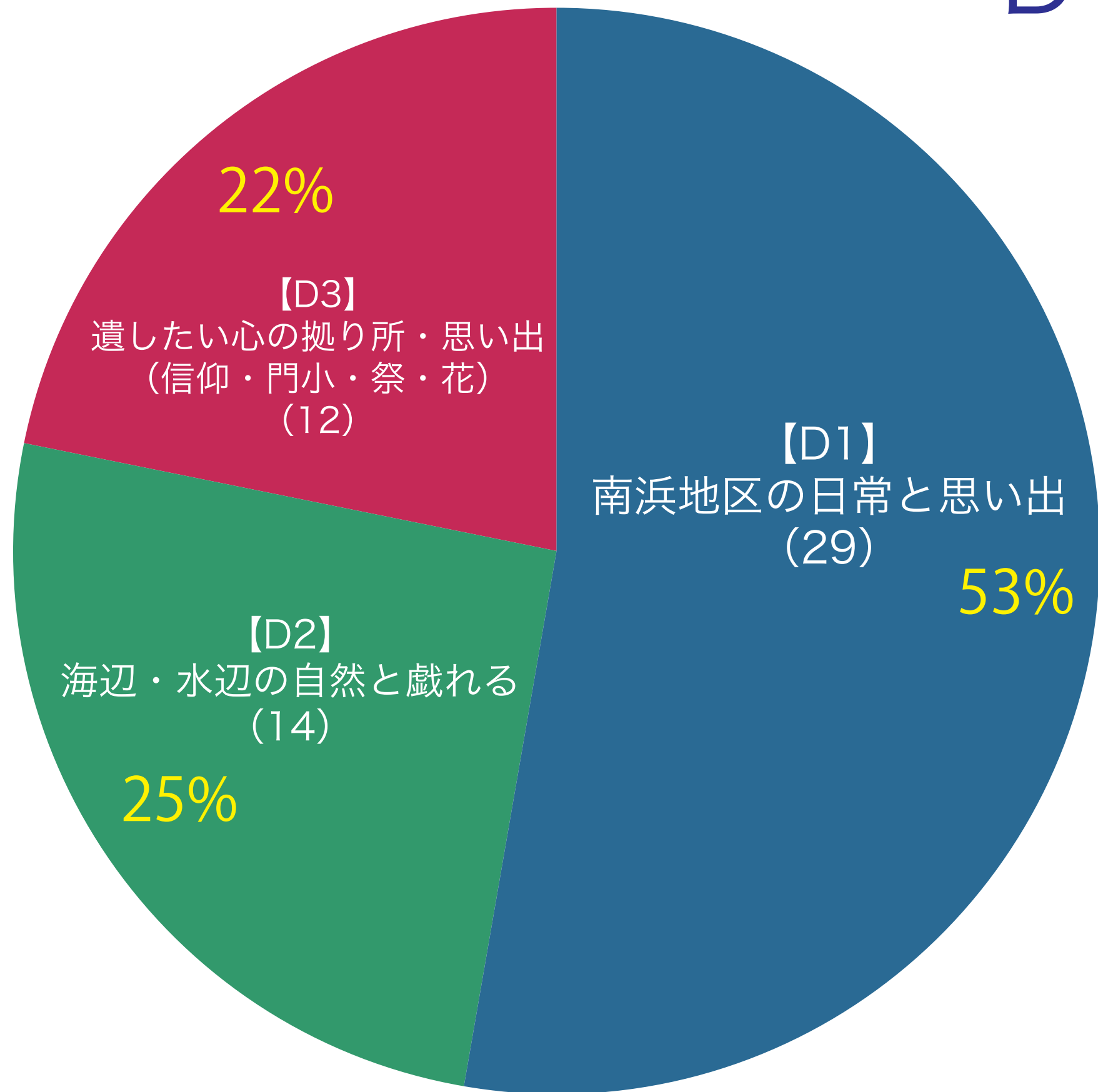


「石巻市南浜地区の未来をみんなで考える市民ワークショップ」第1回 | コメント分析結果 | Dグループ

石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29

2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014

D-3次分析



「石巻市南浜地区の未来をみんなで考える市民ワークショップ」第1回 | コメント分析結果 | Dグループ

石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29

2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov 2014



D グループワークシート

第1回市民ワークショップ | Dグループワークシート | The Sheet of Groupwork D
 石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29
 2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014



三日月の群

南浜カラカル公園

DDI
日野

D グループ制作物

第1回市民ワークショップ | Dグループ制作物 | The Products of Groupwork D
石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29
2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014

Eグループ

〈Eグループ分析結果（文責：阿部聡史）〉

Eグループは、南浜地区の自然（水辺空間）で遊べるようなアイデアの議論、そして震災によって残ったものやゴミ投棄などの現実的な課題に対する気づきなどの議論などが多かった事が分かりました。（3次分析結果より）

その主な遊び場としての水辺空間のアイデアを活かして、震災後にそれぞれが感じた南浜地区への思い出や記憶の反映、そして人が気軽に集まれるような空間づくりを、どのようにして実現するのかという、被災後の状況をポジティブに捉えた議論の流れが見えます。

発表では、

- ・最初水たまりは汚いと思ったが、その中に生き物がいて、それをほっといたらどうなるのか楽しみになった。生態系が整えられていく気がしたので、それを見たい
- ・人も鳥も木も集まる場所が欲しい。植物が生えている中に人が集まる場所もあって、そこでガマのたいまつで遊べたり、宝探しができたりする
- ・生き物を見かけても、どんな種類なのか分からなかったので、石にその説明が掘ってあるものを地面に転がして、歩きながらそれを見つけられたりしたら嬉しいと思う
- ・人が集まる機会があるといいと思った。ある住民の方は、ガマの穂を灯油につけてそれをたいまつにして遊んでいたらいい。自然のものを利用して簡単に遊べて集まれる場所が欲しい
- ・稚児行列のお祭りが震災後には無くなってしまったらいいのでそれが復活したらいいと思った。そういった気軽に人が集まれる場所が欲しい
- ・震災後、海に行く人が減った。海のいいところもたくさんあるので、みんなが安心して海に行き釣りができるような石巻（南浜地区）に戻ってほしい
- ・震災後、どんなものがあたらいいかという話し合いが小学校であって、カフェが欲しいという意見と、みんなで遊べる場所が欲しいという意見があって、両方を組み合わせたらどうかというアイデア。カフェとキッズスペースが隣り合い、カフェでくつろぐ親は、その窓からキッズスペースで遊ぶ子供の姿が見えるような、安心してくつろげる場所が欲しい
- ・南浜地区に半年ほど務めていた事がある。この塔は円錐形で七色に分かれている、高さは30m、海の近いところに立っている。周辺は平で、今の環境を活かせるようなものならいいのかなと思った。コンセプトは「祈り」と「希望」。タイトルは「はじめ」という言葉で表した。はじまりの意味、ここからまたはじまっていくんだよ、という想いでつくったというコメントがありました。

〈Eグループ制作物〉

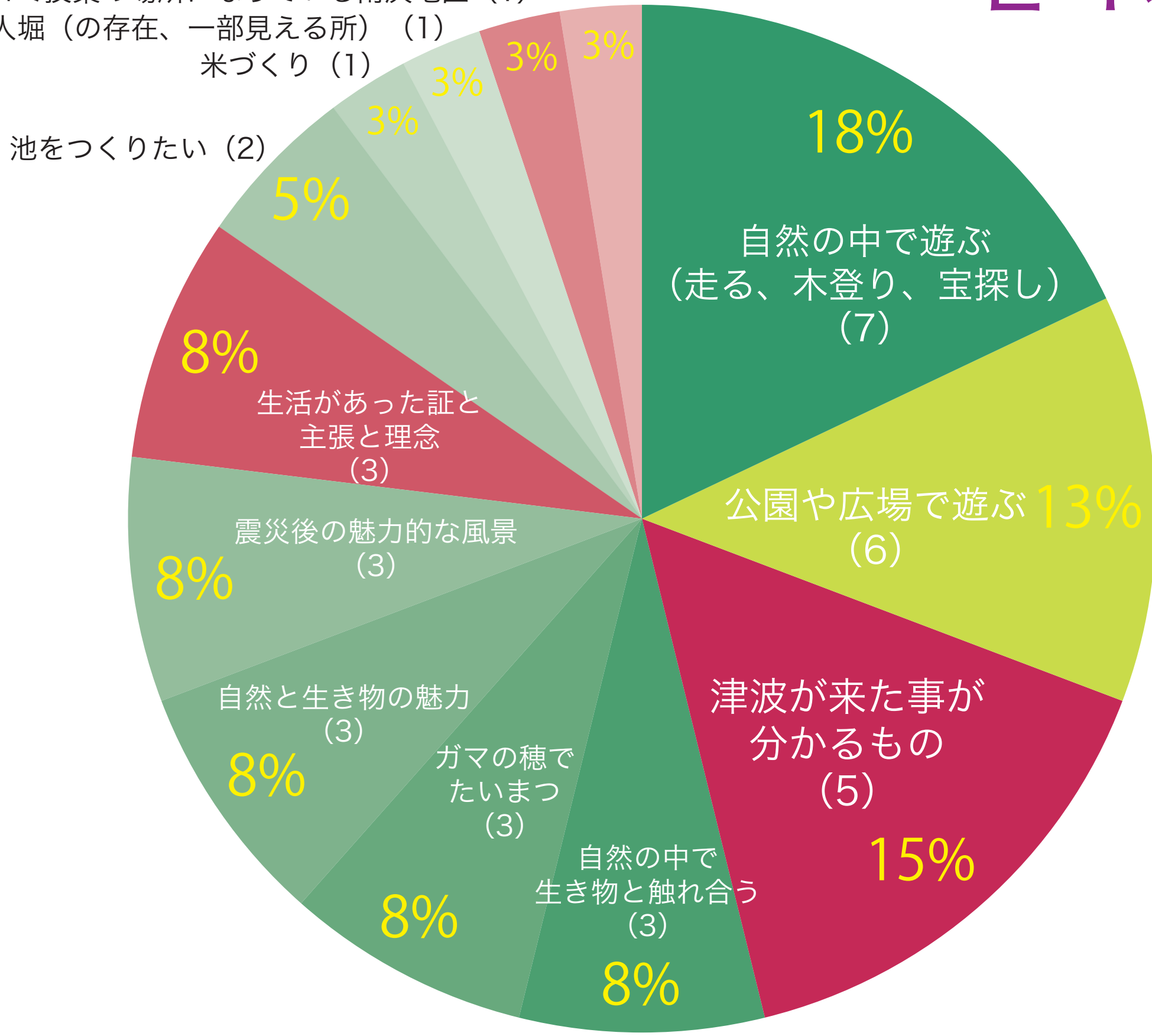
人も鳥も木も集まる場所／朔（はじめ：祈りと希望を表現した塔）／人が気軽に集まれるイベント（ガマの穂でたいまつ祭り）／「取り戻せ！美しい自然石巻！」／カフェ&キッズパーク（親がカフェでくつろいでいる間、子供はキッズスペースで遊べます。窓から我が子が見えるので親も安心！）

〈分析結果を受けての論評（文責：千葉一）〉

- ・水辺の保存を前提とした自然との係りと自然学習の場を創造する
- ・遊び場としての機能と学習の場としての機能を併せ持つ空間の具体化とは？
- ・また、その公園は親水性だけでなく、森林公園の要素を併せ持つようなニュアンスかも知れない
- ・水辺空間における造林とは？湿性に適した石巻の植生と樹種の選択とは？
- ・そうした学習過程自体が、住民参加を具体化する可能性を持っている
- ・親水性の一つである堀と信仰の場が津波の記憶と教訓を未来へと繋ぐ
- ・それらと南浜地区の記憶を融合させるアイデアとは？
- ・その場所が、記憶の一つである南浜地区のお祭りの復活をももたらす場となるためには？
- ・祭による南浜地区への回帰、再び結ばれる人の絆という住民参加の空間

E-1 次分析

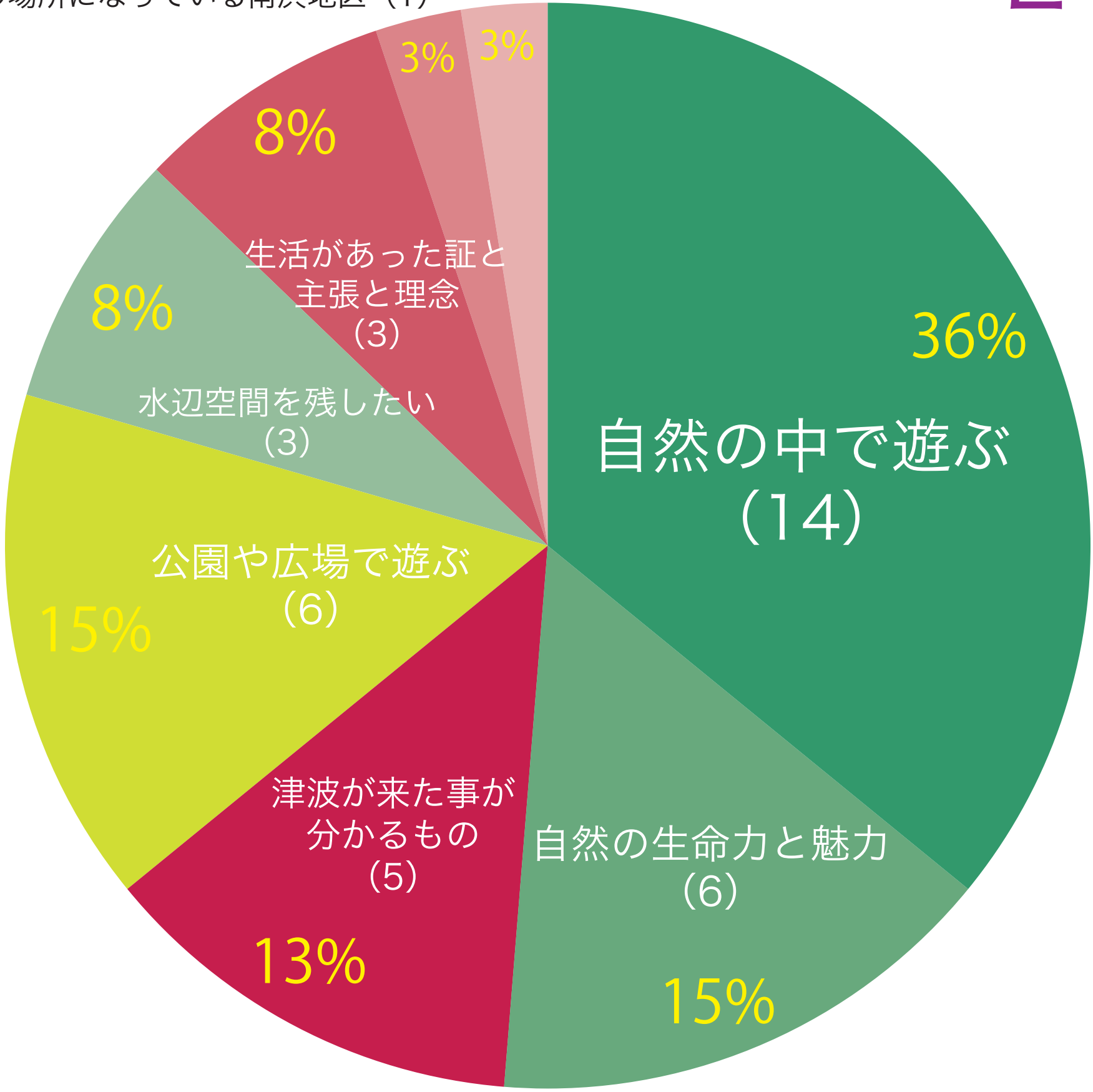
門脇と南浜を一日かけて御輿をかつぐ稚児行列 (1)
 ゴミ投棄の場所になっている南浜地区 (1)
 聖人堀 (の存在、一部見える所) (1)
 米づくり (1)



「石巻市南浜地区の未来をみんなで考える市民ワークショップ」第1回 | コメント分析結果 | Eグループ
 石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29
 2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014

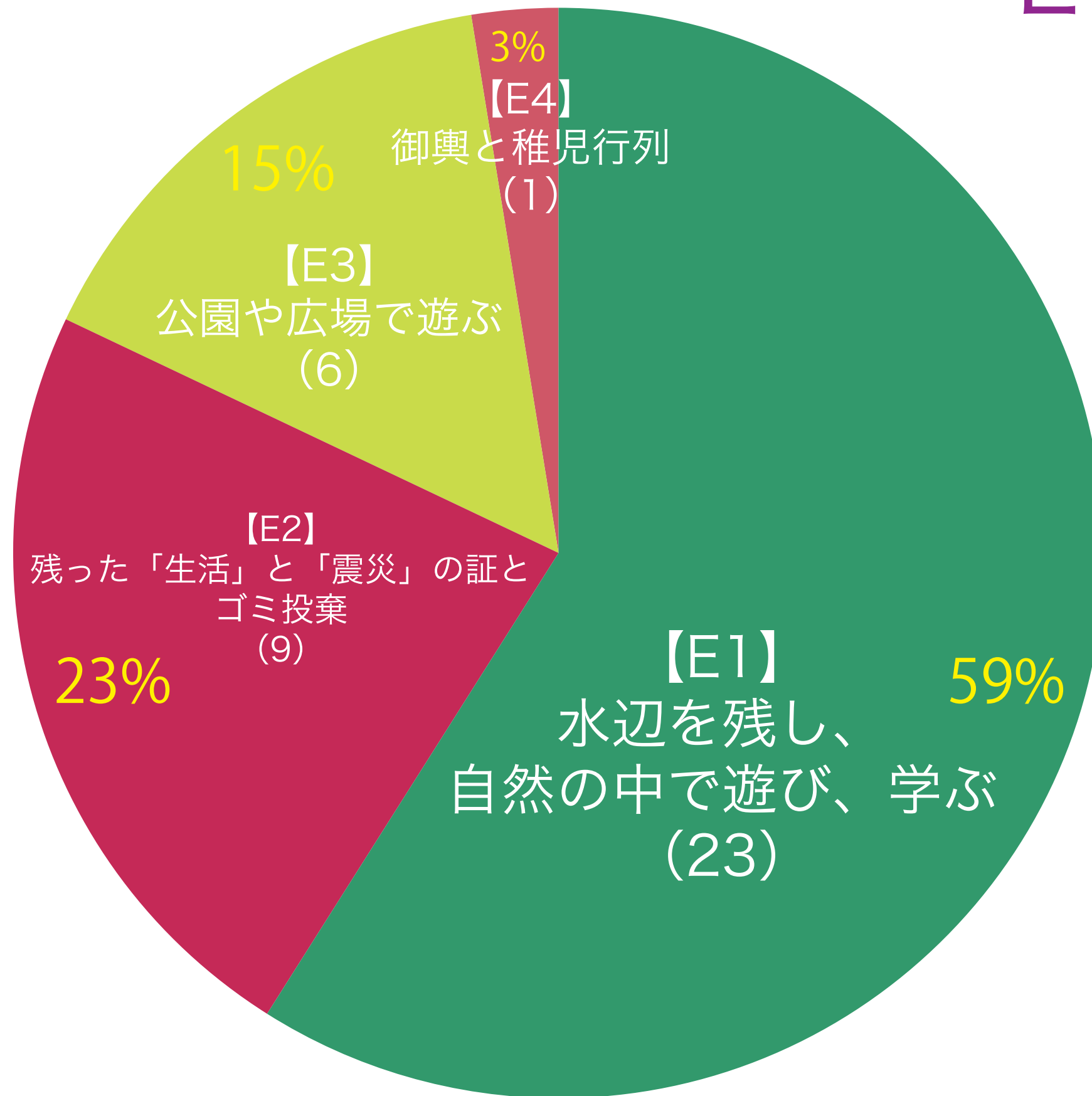
E-2次分析

門脇と南浜を一日かけて御輿をかつぐ稚児行列 (1)
ゴミ投棄の場所になっている南浜地区 (1)



「石巻市南浜地区の未来をみんなで考える市民ワークショップ」第1回 | コメント分析結果 | Eグループ
石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29
2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th,Nov,2014

E-3次分析



むかし

造園業

ツマノ種に木を植

大きい木がある所で
木のぼり

古い場所と新しい
場所の境目

草履をはき
走り回った

庭の土を
掘った

竹の穂
たけのこ

木の葉が
落ちてきた

土をほたりにして
何かを植える

節がこぼれ
虫とり

誰でも自由に
使える空地

米づくり

泥をこぼし
しぼった

「下
り」

震災前

公園の
鬼ごっこ

内小の校庭で
お祭り

文化センターの
噴水で
鬼ごっこ

砂浜で
貝拾い

自由帳に
絵をかいた

内閣と南は2000
神楽の
神楽行列

海岸の
砂浜で
走り回った

雲雀野公園の
遊具で遊ぶ



保存所の
内柱跡



流石に
お祭り
の
お祭り

お祭り
の
お祭り



神社の
木

かまゆり



聖人様



枯れた
木があるけど



木の生命力

木が
生きてる

津波が
来たこと



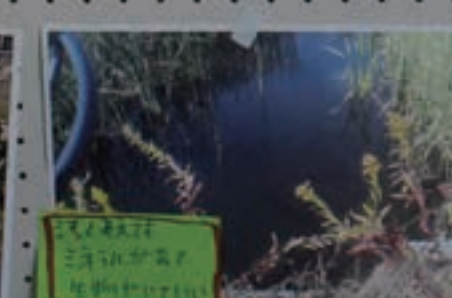
お祭り
の
お祭り



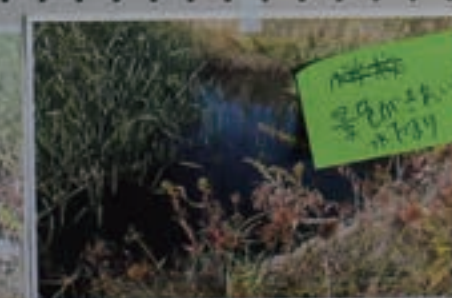
木の
生命力



ユース
センター



お祭り
の
お祭り



お祭り
の
お祭り



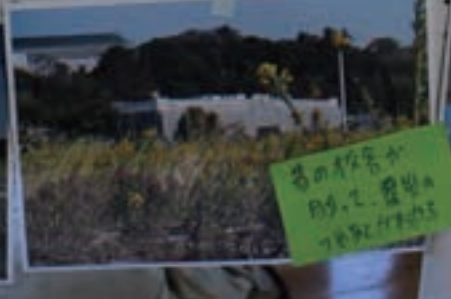
お祭り
の
お祭り



お祭り
の
お祭り



お祭り
の
お祭り



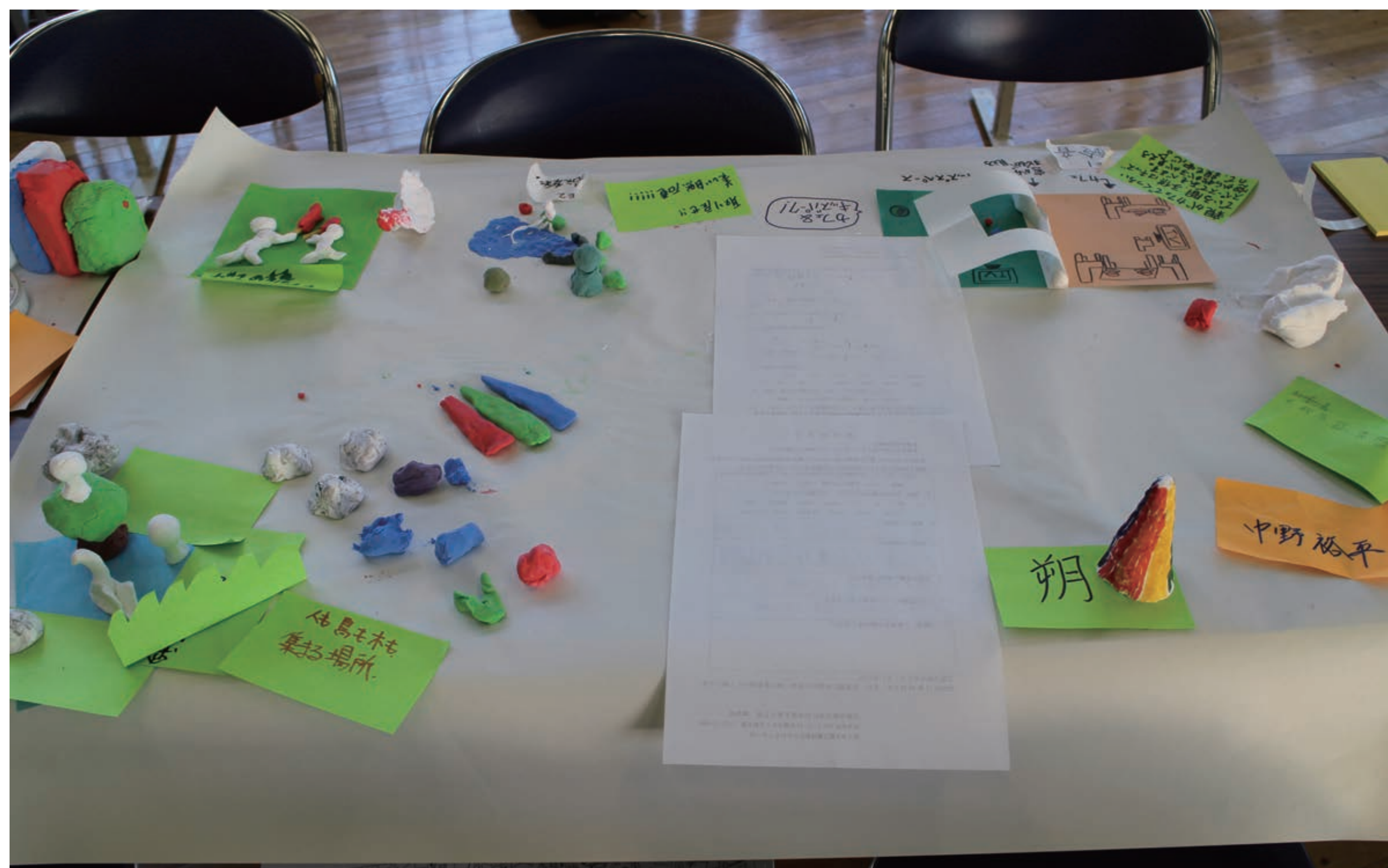
お祭り
の
お祭り



お祭り
の
お祭り



お祭り
の
お祭り



Eグループ制作物

第1回市民ワークショップ | Eグループ制作物 | The Products of Groupwork E
石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29
2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014

Fグループ

〈Fグループ分析結果（文責：阿部聡史）〉

Fグループは、大きく「自然」「震災記憶（記録）」「公園や施設で遊ぶ」「南浜地区への思い出」という3つのテーマで議論されていた事が分かりました。（3次分析結果より）
その中でも比較的自然に関する割合が多い中、震災後浮き彫りになった歴史（史跡）が示す意義（防災の視点）と、遊び場としての公園や施設をどのように組み込むのか、という工夫が今後のポイントであると言えます。

発表では、

- ・南浜地区は空間が開けてて見晴らしがいいので、長い滑り台をつかって、景色を眺めたい
 - ・1階は柱で、昇り階段を使って入れるようなツリーハウスが欲しい
 - ・南浜地区にはもう家がなくなってしまったので、家がほしい。そこには南浜地区を守ってくれる管理人さんがいる
 - ・サッカーコートをつくりました。ライトをつけた理由は24時間遊べたらいいなと思ったから
- というコメントがありました。

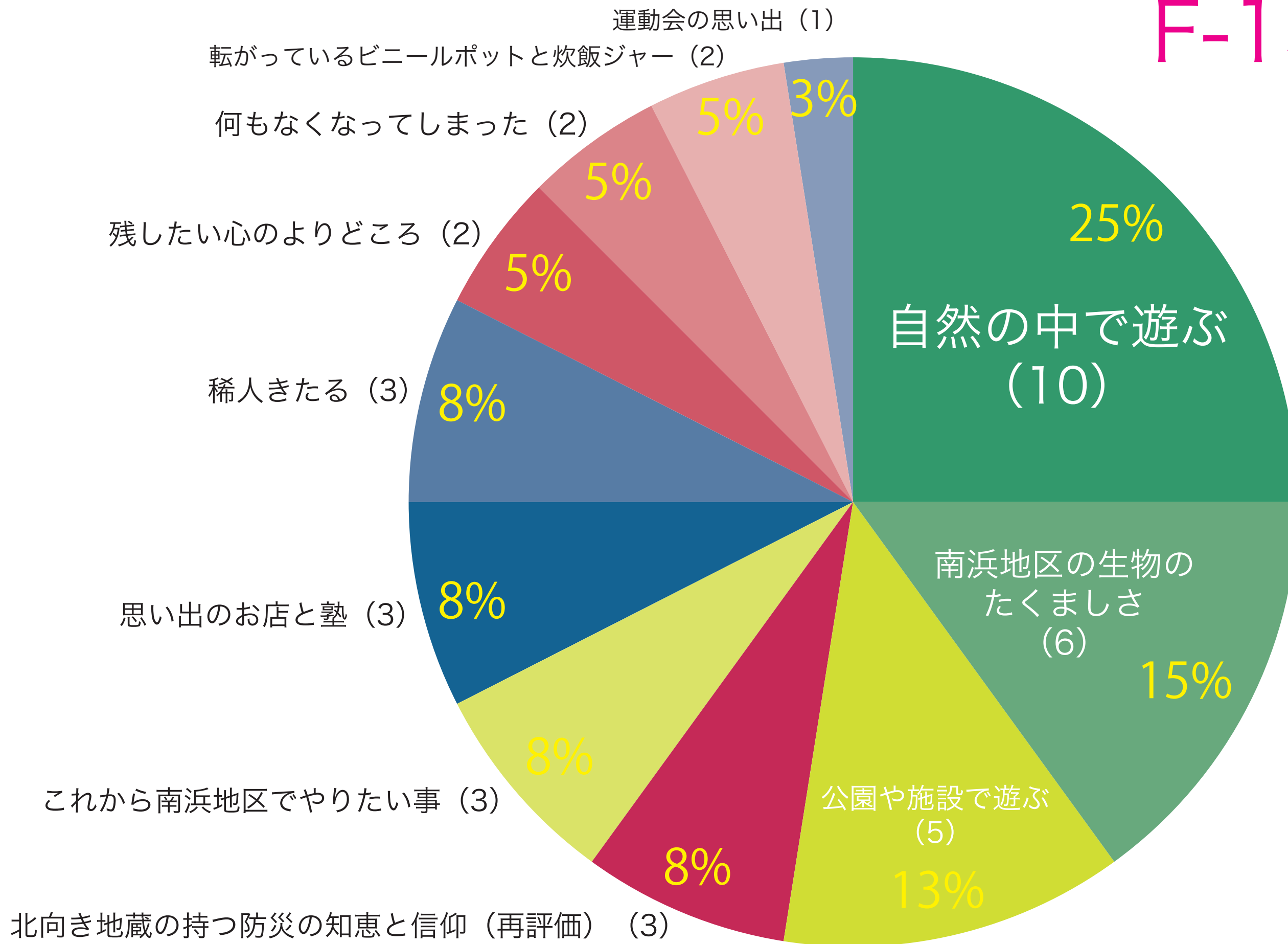
〈Fグループ制作物〉

長い滑り台とツリーハウス／南浜地区を守る管理人さんと家々／サッカーコート

〈分析結果を受けての論評（文責：千葉一）〉

- ・自然に触れ合って、逞しく感性豊かに育つ子供達...そんな子育ての場を目指すニュアンス
- ・自然重視のスタンスで、「遊ぶ」という概念を通じていかにインフラを発想するか？
- ・自然環境での遊びと学習に適した遊具・構築物の整合性とはどのようなモノか？
- ・多くの人工的構造物の配置と、南浜地区の思い出、残したい津波の教訓や信仰・祈りの場が持つ防災の知恵を実現する場合、自然重視の立場との整合性をどのように保っていくべきか？
- ・それはこれまで通りのグレイインフラか、それとも生態系サービスの向上ももたらすような自然を活用したグリーンインフラか？

F-1次分析

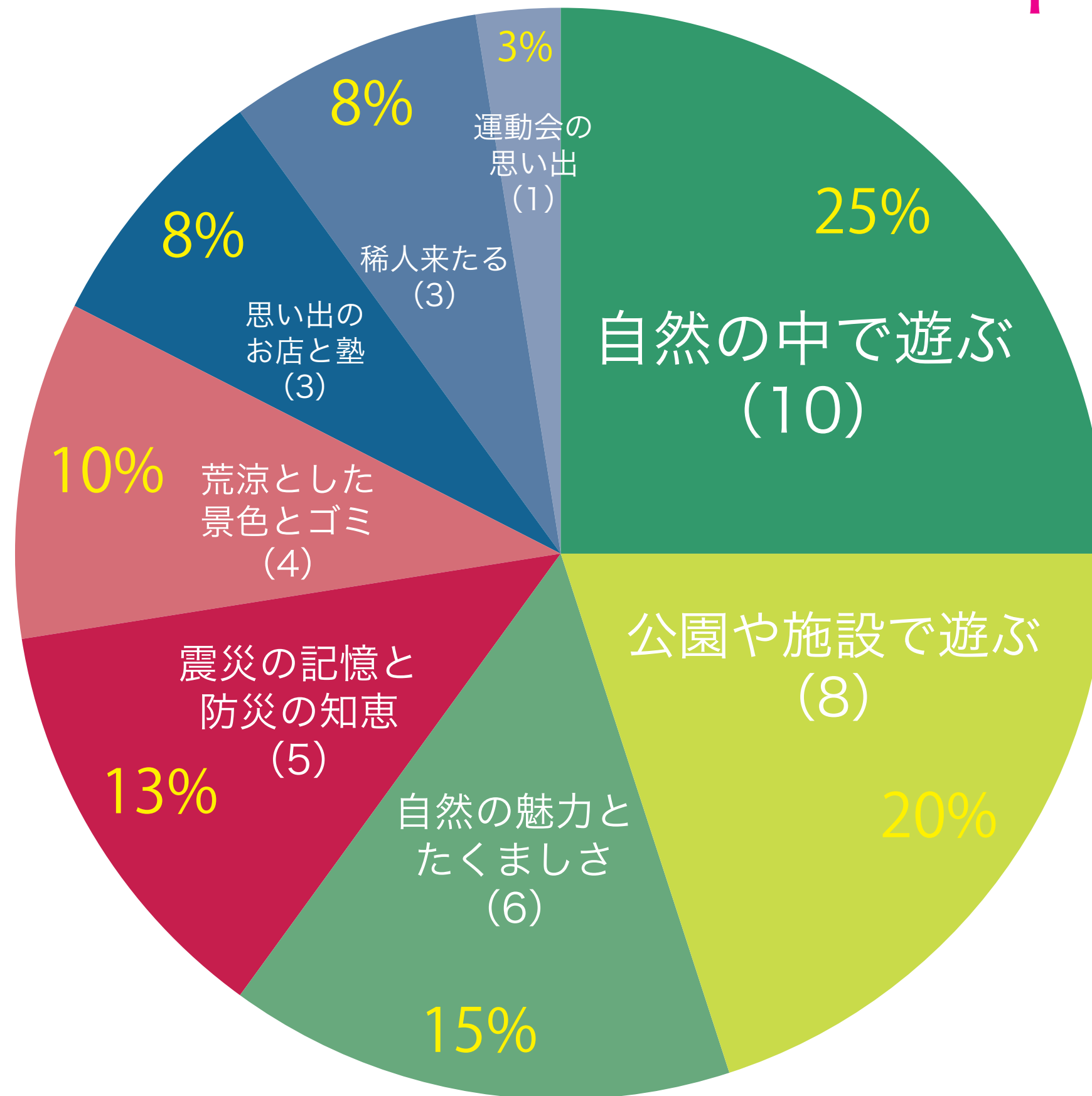


「石巻市南浜地区の未来をみんなで考える市民ワークショップ」第1回 | コメント分析結果 | Fグループ

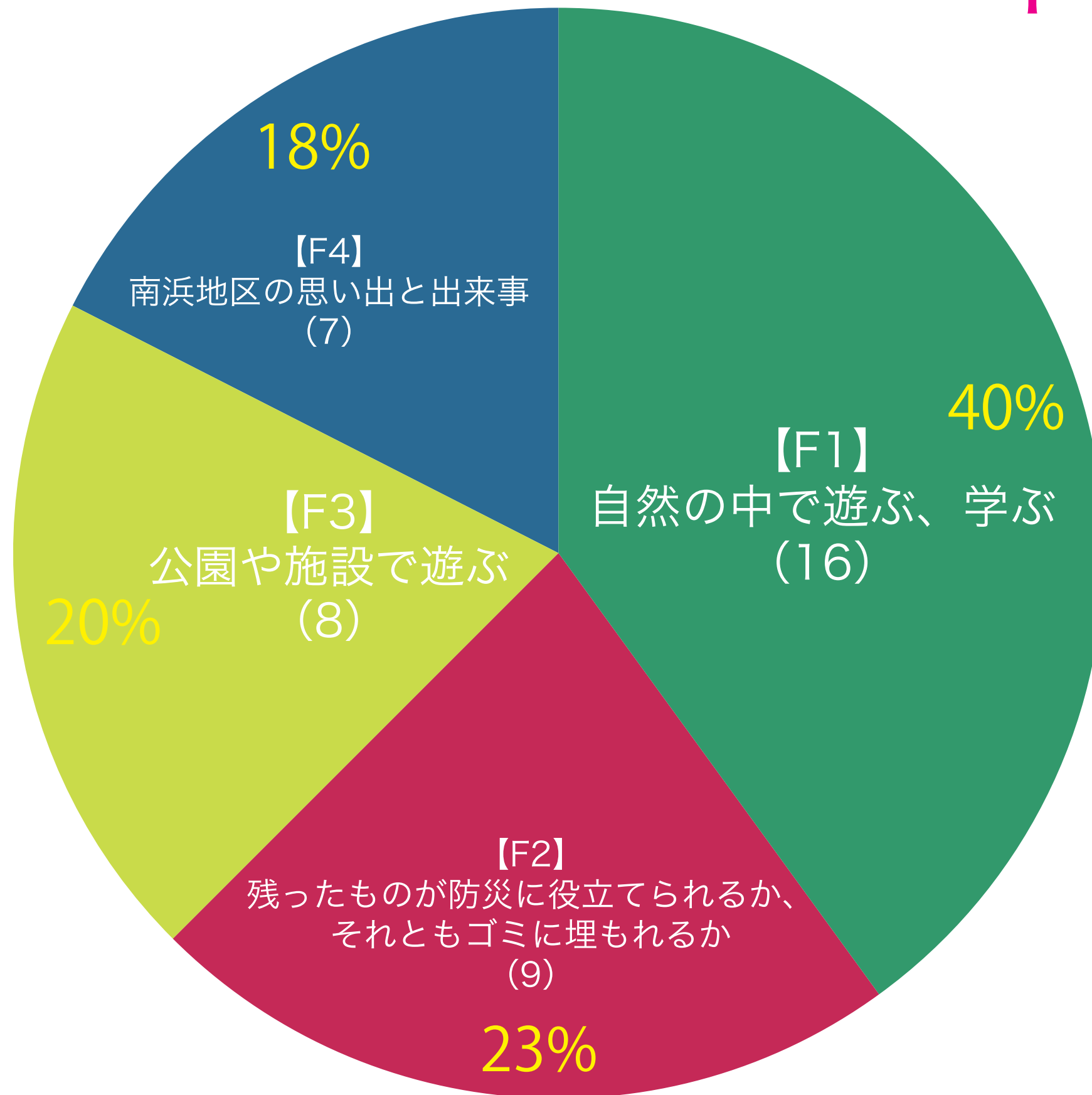
石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29

2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014

F-2次分析



F-3次分析



「石巻市南浜地区の未来をみんなで考える市民ワークショップ」第1回 | コメント分析結果 | Fグループ

石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29

2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov 2014

震災前

幼稚園の時 阿部川
の校庭で運動会
をした

お祭りの
屋台で
食べた

天皇が来られた
20年くらい前

バレーボール
セーター

食堂に食べに行
った

お祭りが
行った
お祭り

散歩道を
考えた

市立病院のちゅう
に大きなカニが2匹
いた

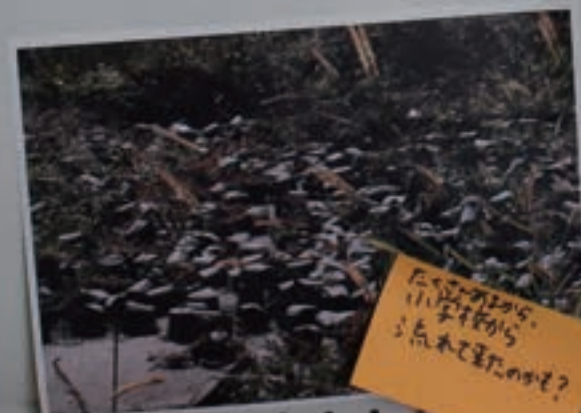
父と姉とドラム

サッカー

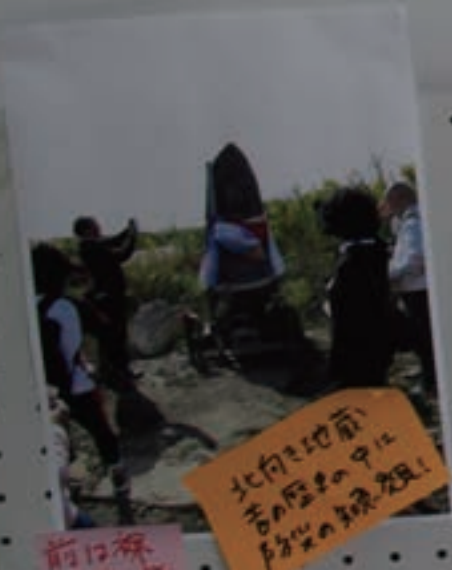
ピザの発表会
(文化センター)

公園の遊具が
壊れた

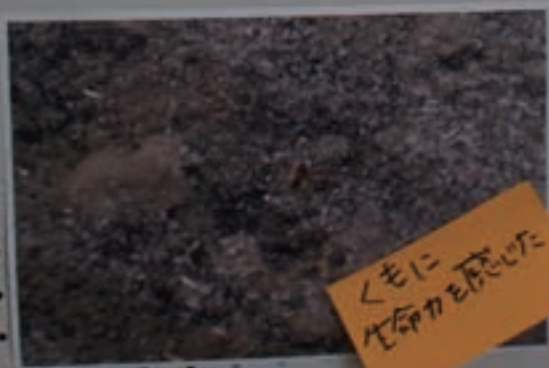
15年くらい前
ロシアの潜水艦
が来た



お祭りの
お祭り
お祭り



北向き地帯
お祭り
お祭り



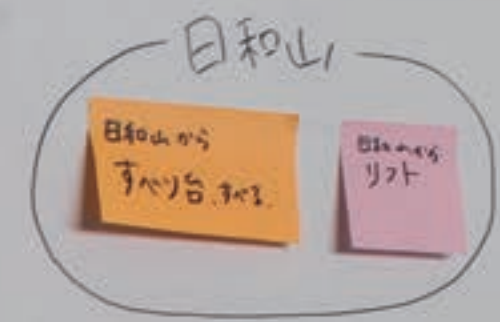
くもに
命を奪った

むかし

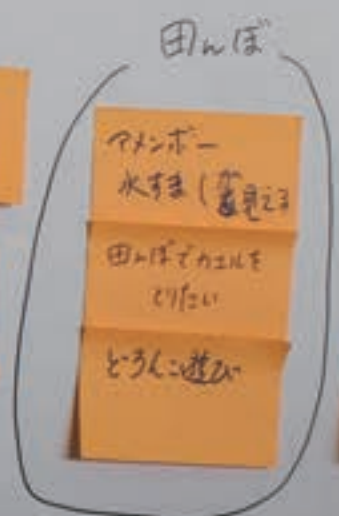


何となく
お祭り

自転車で
走っていた



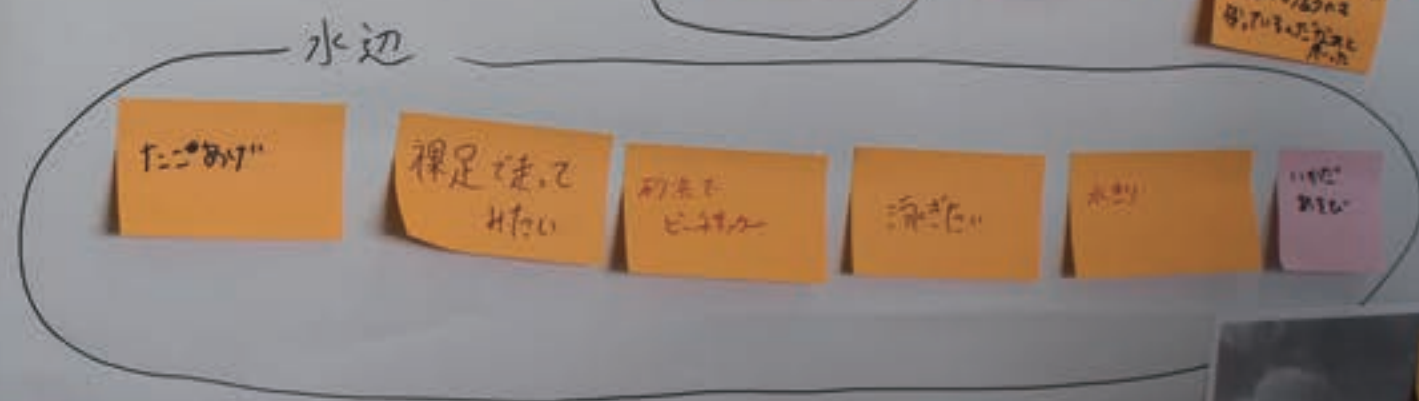
お祭り
お祭り



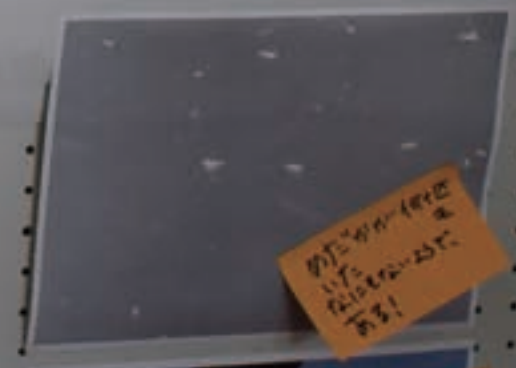
お祭り
お祭り



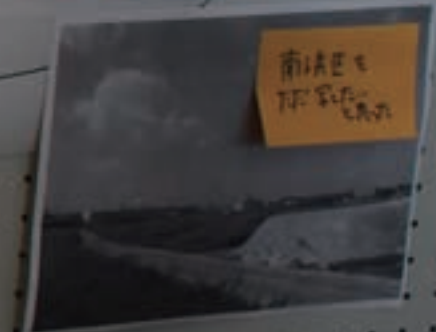
お祭り
お祭り



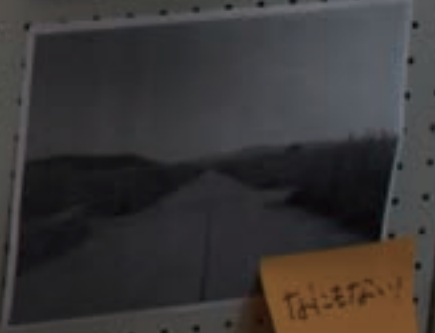
お祭り
お祭り



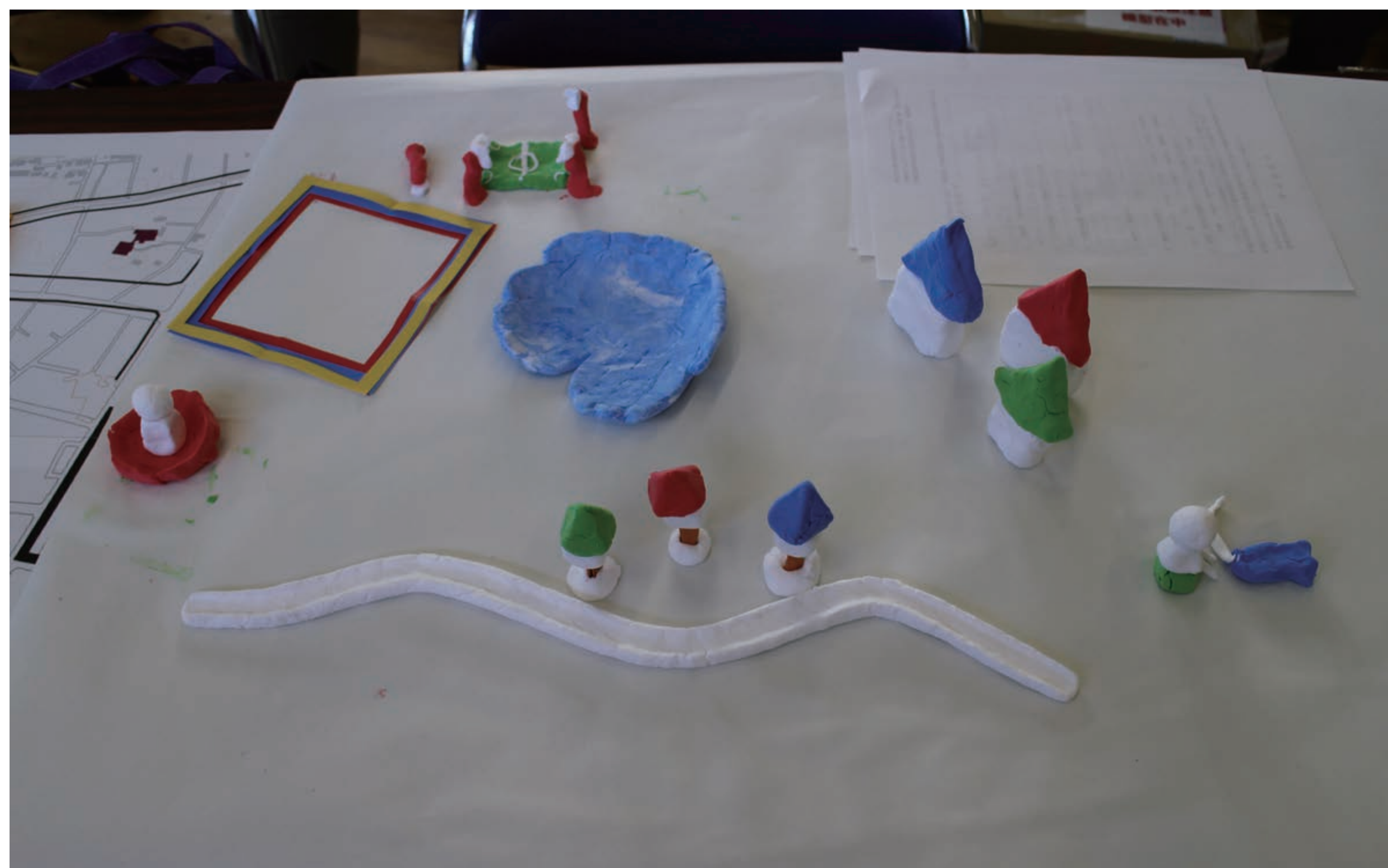
お祭り
お祭り



お祭り
お祭り



お祭り
お祭り



Fグループ制作物

第1回市民ワークショップ | Fグループ制作物 | The Products of Groupwork F
石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29
2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014

A～F グループ（全グループ総合分析）

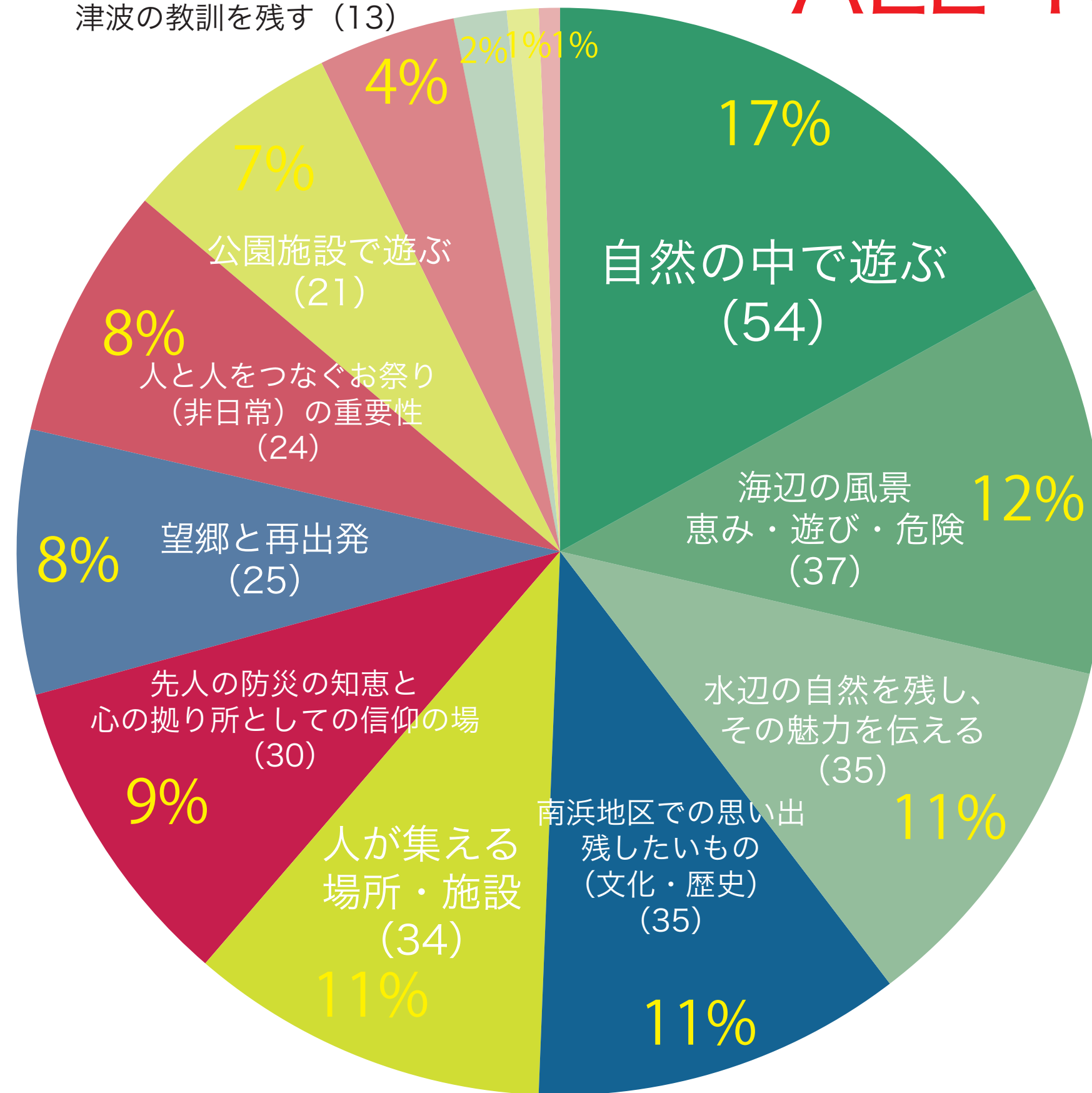
2次分析 (141101)	2次分析分類 (141101)	3次分析 (141105)	%	導き出された4つのテーマ (141105)	%
〈A〉 思い出のまちの生活・これからの住みよいまちづくり (21) 〈A〉 震災の傷跡と心の拠り所 (19) 〈A〉 海の恵みと危険・防災 (15) 〈A〉 みんなで遊べる陸と海の場所 (11) 〈A〉 信仰とお祭り (濡仏、船魂、鹿嶋御児、北向き) (10) 〈A〉 浸水地に咲く花・植物 (7)	〈E〉 自然の中で遊ぶ (14) 〈A〉 みんなで遊べる陸と海の場所 (11) 〈F〉 自然の中で遊ぶ (10) 〈A〉 浸水地に咲く花・植物 (7) 〈E〉 自然の生命力と魅力 (6) 〈F〉 自然の魅力とたくましさ (6)	【11】 自然の中で遊ぶ (54)	16.9	①自然との共生 (131)	41.1
〈B〉 人が集える場所や施設 (25) 〈B〉 遺したいもの・歴史・思い出 (8) 〈B〉 お祭りの思い出 (2) 〈B〉 追悼と祈り (2)	〈C〉 海辺の風景 (18) 〈A〉 海の恵みと危険・防災 (15) 〈D〉 海遊び (4) 〈C〉 水辺の自然と親しむ (22)	【12】 海辺の風景・恵み・遊び・危険 (37)	11.6		
〈C〉 水辺の自然と親しむ (22) 〈C〉 海辺の風景 (18) 〈C〉 食文化 (10) 〈C〉 人が集う (9) 〈C〉 運動会の思い出 (3) 〈C〉 先人の知恵 (祈り・境界) (2) 〈C〉 震災以前の生活が見える印と震災後の状態の対比 (1)	〈D〉 水辺とその動植物の魅力 (10) 〈E〉 水辺空間を残したい (3) 〈F〉 荒涼とした景色とゴミ (4) 〈E〉 ゴミ投棄の場所になっている南浜地区 (1)	【13】 水辺の自然を残し、その魅力を伝える (35) 【14】 ゴミ投棄される南浜地区 (自然と対立しているゴミ) (5)	11.0 1.6		
〈D〉 駄菓子屋の思い出 (11) 〈D〉 水辺とその動植物の魅力 (10) 〈D〉 南浜地区のまちの風景と思い出 (9) 〈D〉 公園の思い出 (7) 〈D〉 門小の思い出と遺構化 (6) 〈D〉 海遊び (4) 〈D〉 心の拠り所 (濡仏・北向き) (4) 〈D〉 「煙突」と「まちの記憶」そして荒涼たる風景 (2) 〈D〉 自分たちでつくった花壇 (門小) (1) 〈D〉 お祭り (1)	〈A〉 震災の傷跡と心の拠り所 (19) 〈F〉 震災の記憶と防災の知恵 (5) 〈D〉 心の拠り所 (濡仏・北向き) (4) 〈C〉 先人の知恵 (祈り・境界) (2) 〈A〉 信仰とお祭り (濡仏、船魂、鹿嶋御児、北向き) (10) 〈C〉 食文化 (10) 〈B〉 お祭りの思い出 (2) 〈D〉 お祭り (1) 〈E〉 門脇と南浜を一日かけて御輿をかつぐ稚児行列 (1)	【21】 先人の防災の知恵と心の拠り所としての信仰の場 (30) 【22】 人と人をつなぐお祭り (非日常) の重要性 (24)	9.4 7.5		
〈D〉 門小の思い出と遺構化 (6) 〈D〉 海遊び (4) 〈D〉 心の拠り所 (濡仏・北向き) (4) 〈D〉 「煙突」と「まちの記憶」そして荒涼たる風景 (2) 〈D〉 自分たちでつくった花壇 (門小) (1) 〈D〉 お祭り (1)	〈D〉 門小の思い出と遺構化 (6) 〈E〉 津波が来た事が分かるもの (5) 〈D〉 「煙突」と「まちの記憶」そして荒涼たる風景 (2) 〈B〉 追悼と祈り (2)	【23】 津波の教訓を残す (13) 【24】 追悼と祈り (2)	4.1 0.6		
〈E〉 自然の中で遊ぶ (14) 〈E〉 自然の生命力と魅力 (6) 〈E〉 津波が来た事が分かるもの (5) 〈E〉 公園や広場で遊ぶ (6) 〈E〉 水辺空間を残したい (3) 〈E〉 生活があった証と主張と理念 (3) 〈E〉 ゴミ投棄の場所になっている南浜地区 (1) 〈E〉 門脇と南浜を一日かけて御輿をかつぐ稚児行列 (1)	〈D〉 駄菓子屋の思い出 (11) 〈D〉 南浜地区のまちの風景と思い出 (9) 〈B〉 遺したいもの・歴史・思い出 (8) 〈C〉 運動会の思い出 (3) 〈F〉 思い出のお店と塾 (3) 〈F〉 運動会の思い出 (1)	【31】 南浜地区での思い出・残したいもの (文化・歴史) (35) 【32】 望郷と再出発 (25)	11.0 7.8	③南浜地区での思い出を 感じられるもの (60)	18.8
〈F〉 自然の中で遊ぶ (10) 〈F〉 公園や施設で遊ぶ (8) 〈F〉 自然の魅力とたくましさ (6) 〈F〉 震災の記憶と防災の知恵 (5) 〈F〉 荒涼とした景色とゴミ (4) 〈F〉 思い出のお店と塾 (3) 〈F〉 稀人來たる (3) 〈F〉 運動会の思い出 (1)	〈A〉 思い出のまちの生活・これからの住みよいまちづくり (21) 〈E〉 生活があった証と主張と理念 (3) 〈C〉 震災以前の生活が見える印と震災後の状態の対比 (1) 〈B〉 人が集える場所や施設 (25) 〈C〉 人が集う (9) 〈D〉 自分たちでつくった花壇 (門小) (1)	【41】 人が集える場所・施設 (34) 【42】 公園施設で遊ぶ (21) 【43】 非日常的なイベント (3)	10.7 6.6 0.9		

「石巻市南浜地区の未来をみんなで考える市民ワークショップ」第1回 | コメント分析結果 | A～Fグループ（全グループ総合分析）

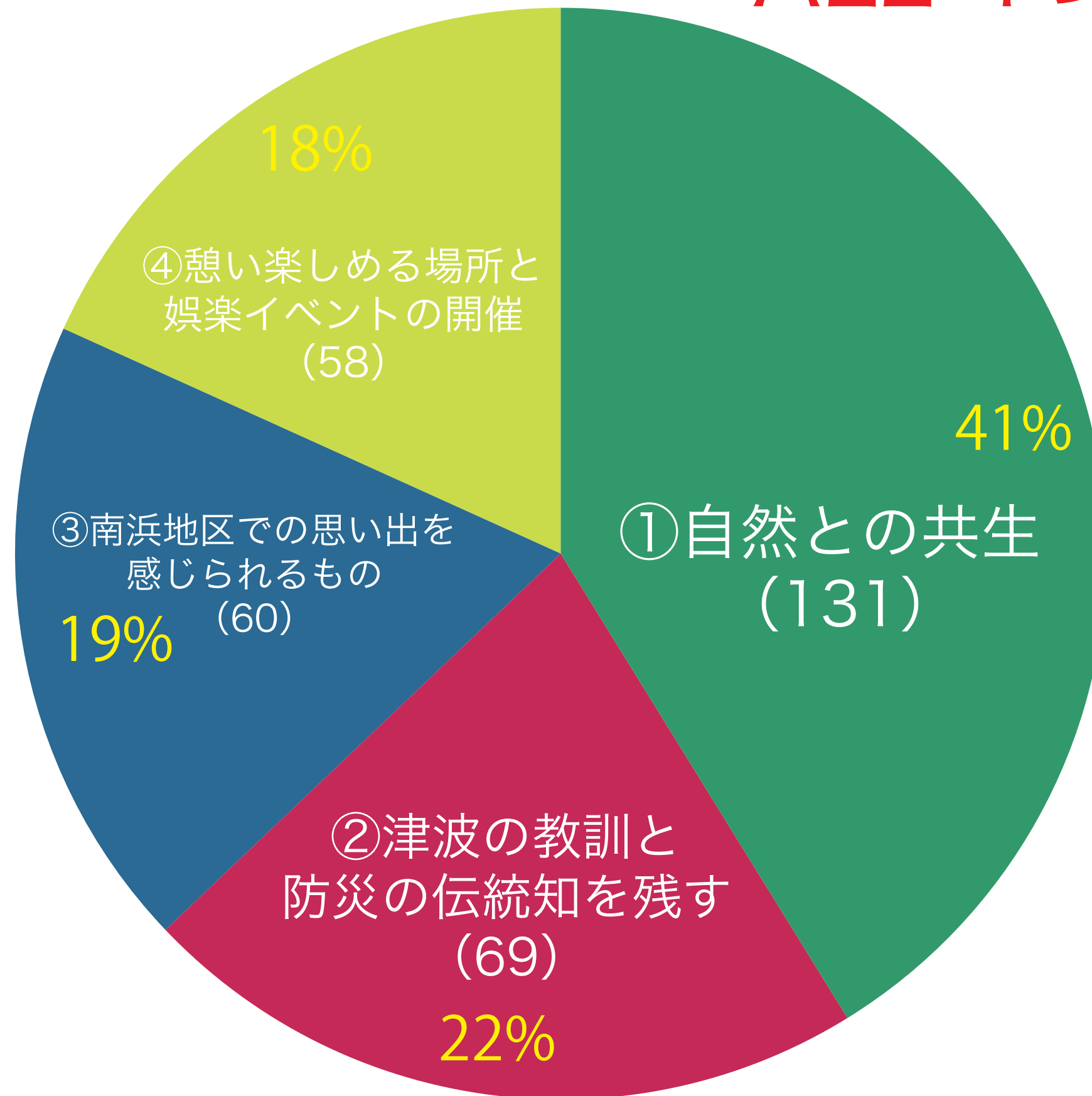
石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29
2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014

ALL-1次分析

追悼と祈り (2)
 非日常的なイベント (3)
 ゴミ投棄される南浜地区 (自然と対立しているゴミ) (5)
 津波の教訓を残す (13)



ALL-4つのテーマ



「石巻市南浜地区の未来をみんなで考える市民ワークショップ」第1回 | コメント分析結果 | A~Fグループ (全グループ総合分析)
石巻市南浜地区の未来を考える会 | 「第2回市民ワークショップ」 / 2014/11/29
2nd Civic Workshop by the Civic Organization for discussing the future of Minamihama Area / 29th, Nov, 2014

	このワークショップの情報はどのように知りましたか？	性別	年代	参加した動機は？	参加した感想は？	今後の活動に参加しますか？	どんな活動だったら参加したいですか？	ご要望、ご意見をお聞かせください。
1	学校からの広報		10代・中学生	南浜についてもっと知りたかったし、考えたかったから。	すごく良い経験になりました。自分の気持ちを、この場を借り、言えて良かったです。	したいです。	石巻の関係のある活動。	
2	学校からの広報	男	10代・中学生	学校からもらったチラシに興味をもったから。	みなさんの意見を聞きました。まちづくりに興味をもちました。	はい。	まちづくりの実現により近づくような活動。	なし。
3	学校からの広報	女	10代・中学生	自分の故郷である南浜の未来について考えたかったから。	グループでの活動が多く、いろいろなことを体験できたので、とても楽しかったです。	参加したいとは思いません。	またグループでの活動がしたい。	
4	学校からの広報	女	10代・中学生	学校の先生に声をかけられ、自分も石巻、南浜のまちづくりに関わりたいと思ったから。	昔の南浜のことを実際にその時代に過ごしたから直接聞けたり、自分が震災前に過ごしていた南浜について話せたりして、とても楽しかったし、ためになりました。最後の粘土では、未来のことを想像してとてもわくわくしました。	時間があれば参加したいです。	ただ話を聞くだけでなく、楽しみながらやりたいです。	
5	学校からの広報	女	10代・中学生	南浜は、小さい頃からの思い出がたくさん詰まった場所だから。	南浜を歩くのは、とても楽しかったです。写真だけではなく、実際に歩いた方が良いということが分かった。粘土で作るのは想像しやすくてとても良かったです。	Yes.	同じような活動。	ありがとうございました。
6	学校からの広報	女	10代・中学生	学校側から誘われた。	最初は不安でいっぱいだったけど、温かい人たちがばかりで楽しく活動できました。今日は一日ありがとうございました。	できる限り。	何かを作る。	
7	学校からの広報	女	10代・中学生	先生に誘われた。このような機会はなかなか無いと思い参加した。	はじめはどんなものか分からず不安だったが、とても楽しく、またやりたいと思った。	ぜひ、よろしくお願います！	具体的にまちづくりを考える。何かを制作。など	とても楽しく、参考になりました。(フィールドワークなど)いつか、大街道や釜でも行ってほしいです！
8	学校からの広報	女	10代・中学生	自分たちも花壇づくりをしたので、他にも協力したいと思ったから。	南浜のことをいろいろ知ることができて良かったです。たくさんの人と意見交換できてとても良いワークショップになったと思います。	時間があれば参加したいです。	何かを作る活動。	特に無いです。
9	学校からの広報	女	10代・中学生	先生に誘われて。	これに参加して地域が変わったとしても、そこへの思いは変わらないということが分かりました。	参加できれば必ず参加します。	なんでも大丈夫です。手伝いもできたらしますよ！	参加してとても地域のことを知れたので良かったです。計画的で明るい人たちが良かったです。
10	学校からの広報	女	10代・中学生	自分も南浜の復興に関わりたかったから。	考えるとたくさん思いや考えが浮かんで、楽しかった良い経験になりました。	都合があればやりたいです。	また同じような活動。	特に無し。
11	知人	女	10代・高校生	これを機に南浜を知ろうと思った。	南浜をよく知る方々の生の声が聞けて、良い経験になりました。	します。	自由に想いを発信できる場がある活動。	若い世代、昔から南浜を知っている世代の方がいて、どちらからの意見も勉強になりました。
12	知人	女	10代・高校生	自分の意見が言える場だと思ったから。	みんなで意見を出し合って、良い話し合いになったと思う。	します。	楽しみながらできる。	特に無い。
13		女	20代		あらためて歴史を勉強したり、歩いてみると、発見が多かった。また、住民や若い学生の想いに正面から向き合えて、非常に良かった。子供たちは本当によく考えていると感心した。	参加します。		2~3hから半日くらいだと継続的に関わりやすい。お年寄りにはづらいという意見もありました。
14	知人	女	20代	まちづくりの仕方を勉強するため。	子供と大人と一緒に話す場ができることに嬉しく思います。石巻の子たちは地域への関心が高いと思いました。学校での授業のためでしょうか？	来れるときはぜひ来たいです。	多世代がまんべんなく交流できる活動。	「どんな意見を言ってもいい(否定しない)」というようなルールを最初に共有すると慣れない参加者は意見を言いやすいかもしれません。
15	知人	女	20代	外部の人間なので、南浜、門脇エリアの地域づくりに関して、どれくらい首を突っ込んでいいものか分からなかったのですが、今ここに引っ越してきて、住んでいる以上は、もっと地域のこと、今後のこと、地元の方々がどう思っているのか知りたいし、知る必要があると思ったから。	南浜、門脇ご出身の方々の率直なご意見、お考えを聞くことができて、本当に良い機会となりました。もっと話を伺いたいと思っています。	ぜひ参加させてください。	もう少し短い時間で、お昼を挟まずに。ワークショップ形式が良いと思います。	まとめることは非常に困難(むしろ、全員が納得するのは無理)な話ですが、この苦しいプロセスが大事なんだなと思いました。みんなで生身の苦しみを乗り越えるいい機会となりますように。
16	知人	女	20代・大学生	復興に携わろうと思ったから。	グループワークだったこともあり、たくさんいろいろな話を聞けて、一人では気づけないことに気づいたり、新たな発見ができた。(フィールドワーク)	します！	今回のように、実践的かつグループでの話もできる感じ。	
17	知人	男	20代・大学生	知人に誘われたため。	門脇中学校の生徒の積極さ、活動的なところに驚いた。新しく生態系が育まれつつあることに、自然の偉大さ、大きさを感ずるとともに、少し寂しさも感じた。	機会があれば(合えば)ぜひ参加させてください。	よりみんなが発言しやすい形であつたら素晴らしいと思います。	
18	その他(Facebook)	男	30代	門脇のことを知りたかった。	ワークショップのやり方が勉強になった。門脇のことが分かった。ただ、この地区のことがよく分からないと、地域そのものの話になると加わりにくいと思った。	時間があつたら。		グループのリーダー(進行役)に、勉強不足を感じた。外を出歩くと、知識不足がみられた。帰りに学校の敷地内に入った時、先生に不審者扱いをされた。自分が答えたが、誘導する人が答えるべきではないか？地域外の人でも、話(勝)ることができる話題があるので、しっかり全員がその意見を取り入れる機会を与えるべき。
19	知人	男	40代	地元の皆さんの声を聞きたかった。(東京から参加)	無くなった故郷への想いを他の人と共有する機会がなかったので良かった。すべては共有し合えないが、異なる意見を聞き、互いに歩み寄り、皆が納得できる結論を導き出した。	できる範囲で。	討論、意見交換、フィールドワーク。	良い機会を与えていただき、ありがとうございました。何かお手伝いできることがあればいつでも。
20		男	40代	南浜の今の自然に触れて残したいものを考えたいから。	フィールドワークは発見や気づきの連続で、また個人的にも南浜を歩きたいと思いました。南浜の未来を考えることで石巻に対しての「故郷」としての意識が高まりました。	参加いたします。	個々の意見を余すことなく汲み上げる活動。	これからも継続的にお願いします。
21	知人	男	50代	自分が思うことなどを伝えたり、周りの方々がどのような考えを持っているかを知りたかったため。	いろいろと知ることができて良かったと考えております。こちらとしても、仕事で得た知識、情報を一人でも多くの方々と共有できることを望んでおりましたので、ありがとうございました。	時間があれば、参加したいと思います。	特にどのような活動ということにはこだわりません。	
22	その他	男	50代		まあ良かった。	はい。	楽しい。	時間配分を少し考える。(一人が長く話し過ぎるケースをもう少し改良したい。
23	その他(Facebook)	女	50代	参画したかったから。	情報が得られ、良かった。	します。	今日のことから、少しずつ形になっていくような活動。	元住んでいて、戻ってくる予定の方がもう少し参加されると良いと思います。
24	チラシ	女	50代	まちづくり。	子供の話が聞けて良かった。	参加できる時参加します。	子供が参加していく時参加します。	長い。これは政策的にどう生かされるか？
25	知人	女	60代	門脇の住民なので、私達の問題として考えたい。	時間が長すぎる。たくさんの方々の意見を聞くことができてよかった。	参加したい。		門脇に戻ってきた人々と仮設住居に住んでいる人々の意見も聞いてほしい。(南浜町の公園をどうするかの問題どころではないと思いますが。)
26		女	60代	スタッフとして。	みんなの声が聞けてよかった。	はい。	ワークショップ。	これが必要。
27	知人		60代	今後は、この南浜がどうなるかと思い、参加しました。	南浜は震災後、なかなか歩けないところだったので、みんなと歩いて良かったです。	今後も参加します。	今回のように、あまり正面から直接入っていく感じではなかったので良かった。	今日のワークショップの進行はとても良かったです。次回もよろしくお願ひ致します。
28	知人	男	60代	ここで暮らしているから。(門脇4丁目)	大切な活動に参加できて良かった。	ぜひ参加したい。	それぞれの考えが分かりあえる会合であれば喜んで。	話しあう課題の提示が、事前にあっても良いのではないかな。